



野毛大塚の鉄製品にみる武器の保有と副葬



令和5年9月24日（日） 於：世田谷区立郷土資料館

世田谷区教育委員会事務局生涯学習課文化財係学芸研究員 箕浦絢



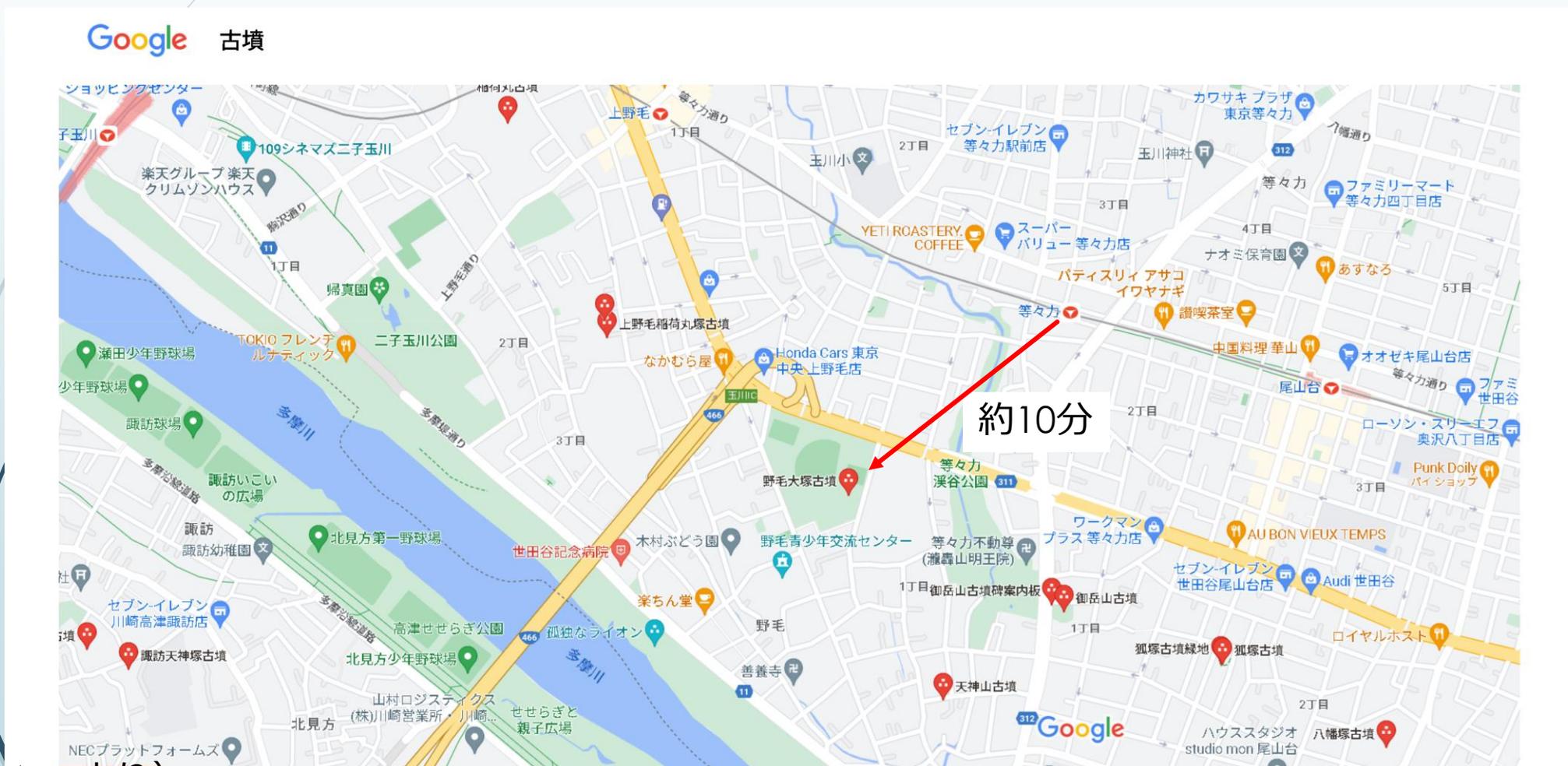
目次

- ▶ 1. 野毛大塚古墳の概要
- ▶ 2. 野毛大塚前後の主要古墳
- ▶ 3. 5世紀初頭の東アジア
- ▶ 4. 野毛大塚古墳の鉄製武器
- ▶ 5. 野毛大塚古墳の鉄鍬
- ▶ 6. まとめ

1. 野毛大塚古墳の概要

所在地

野毛1丁目25番 玉川野毛町公園内



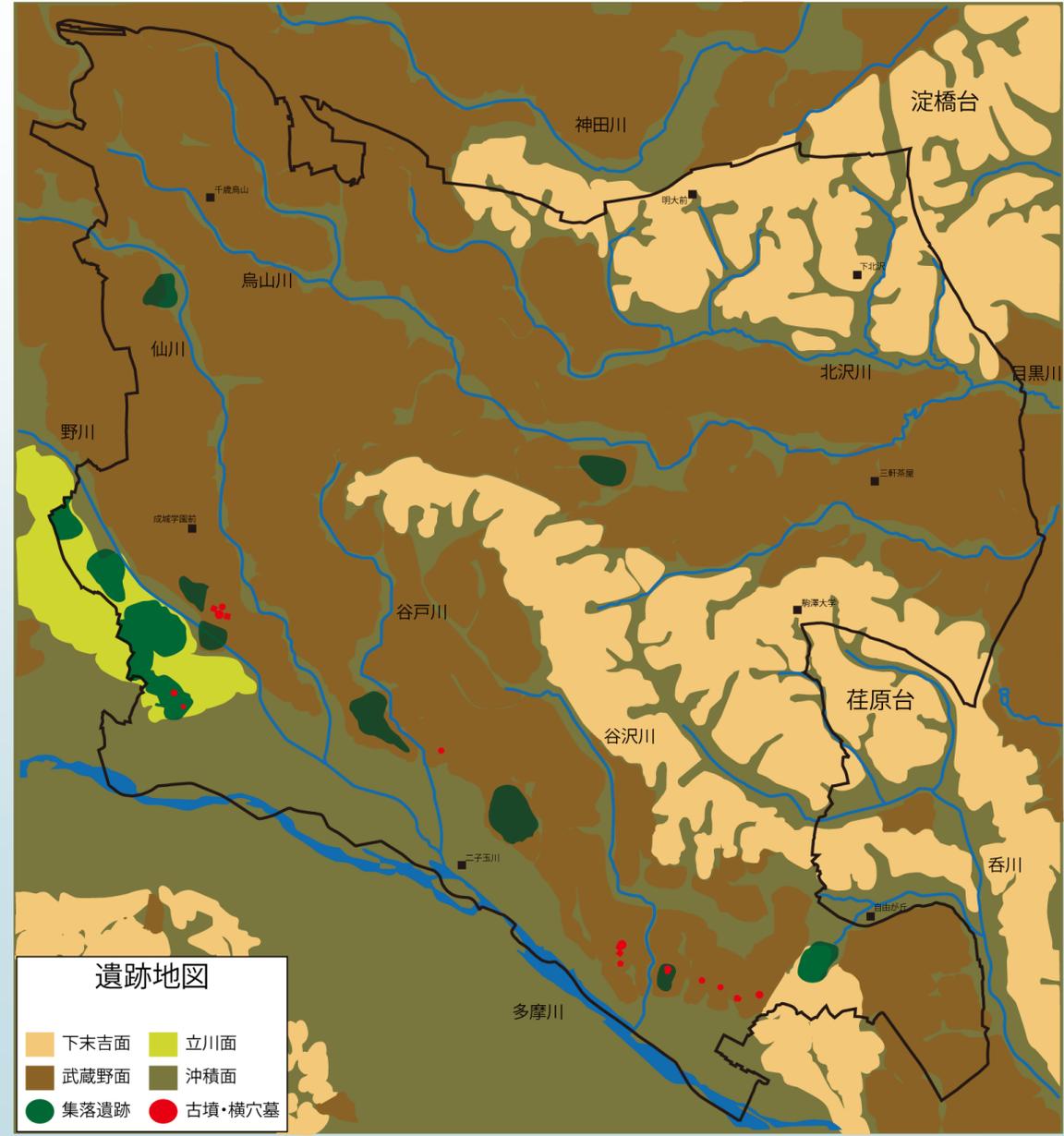
(GoogleMapより)

地図データ ©2023 200 m

1. 野毛大塚古墳の概要

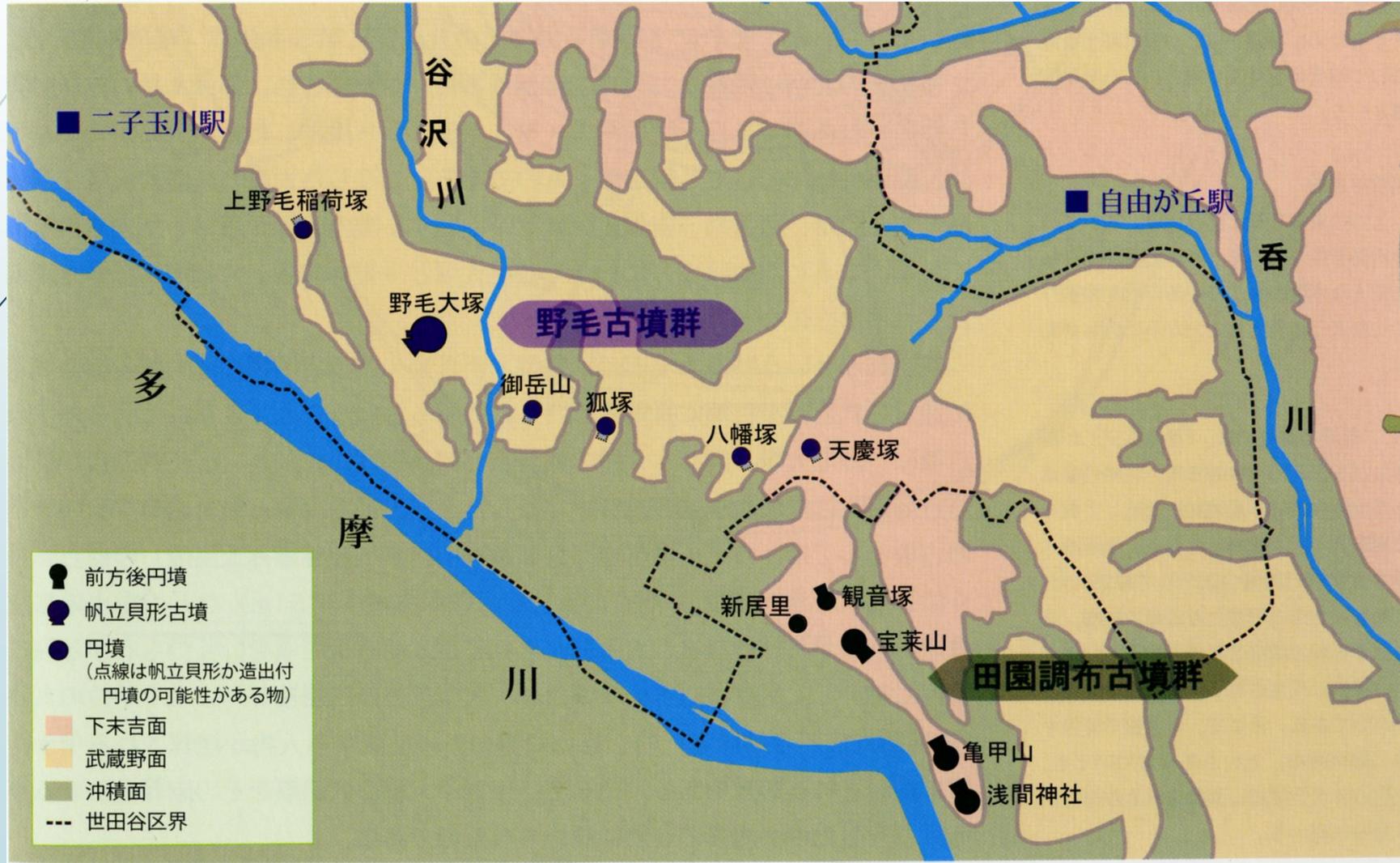
立地

- ▶ 武蔵野台地南東
- ▶ 多摩川左岸
- ▶ 国分寺崖線上
- ▶ 谷沢川によって形成された舌状台地の基部



荏原台古墳群

野毛古墳群 + 田園調布古墳群



野毛古墳群

- ▶ 5世紀代の中型墳、6～7世紀の小型群集墳



墳丘

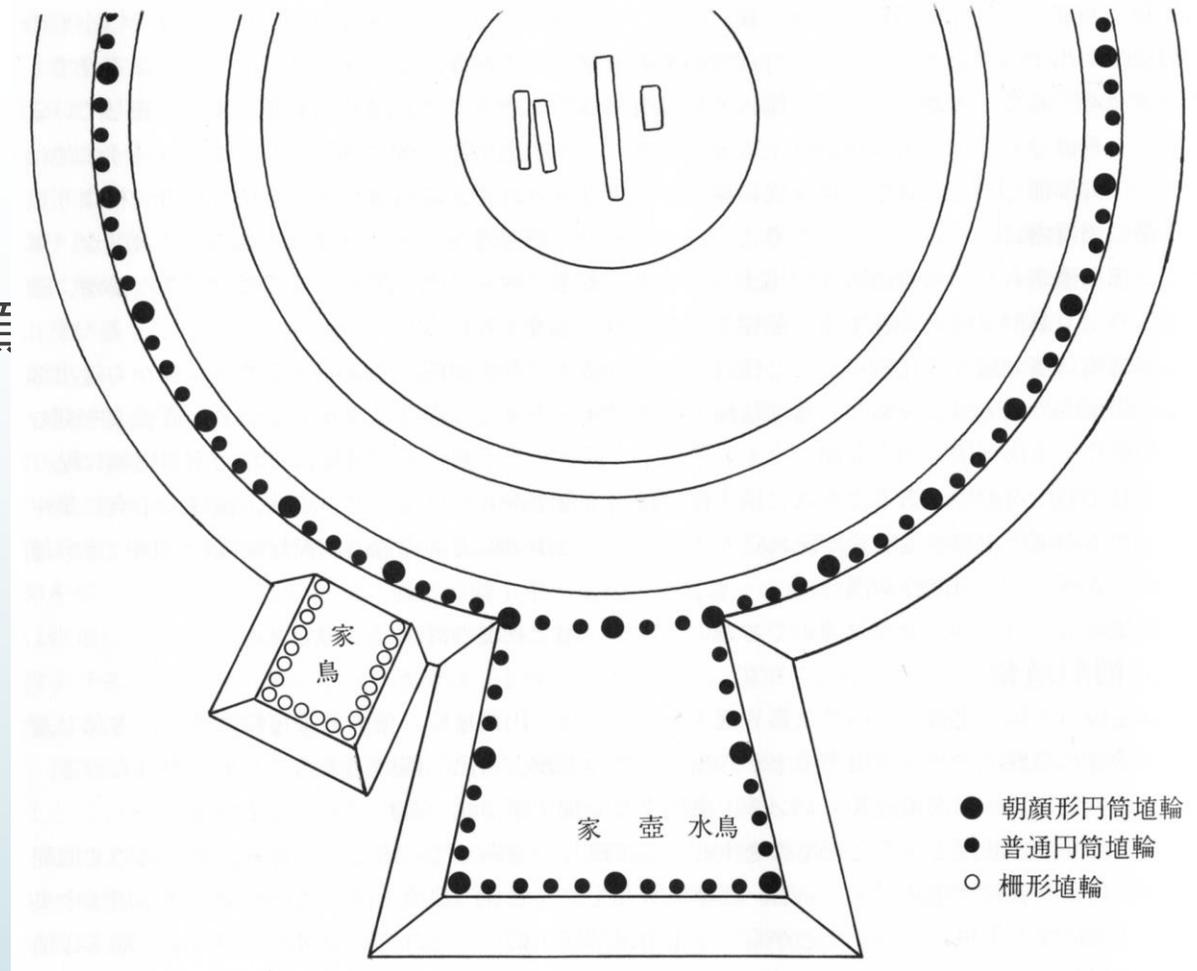
- ▶ 全長 82 m
- ▶ 帆立貝形古墳（関東で最大級）
- ▶ 造出
- ▶ 馬蹄形の周濠
- ▶ 葺石（多摩川の拳大河原石）



1. 野毛大塚古墳の概要

埴輪

- 墳丘テラス (円筒・朝顔)
- 前方部 (家・壺・水鳥)
- 造出 (柵・家・鳥)



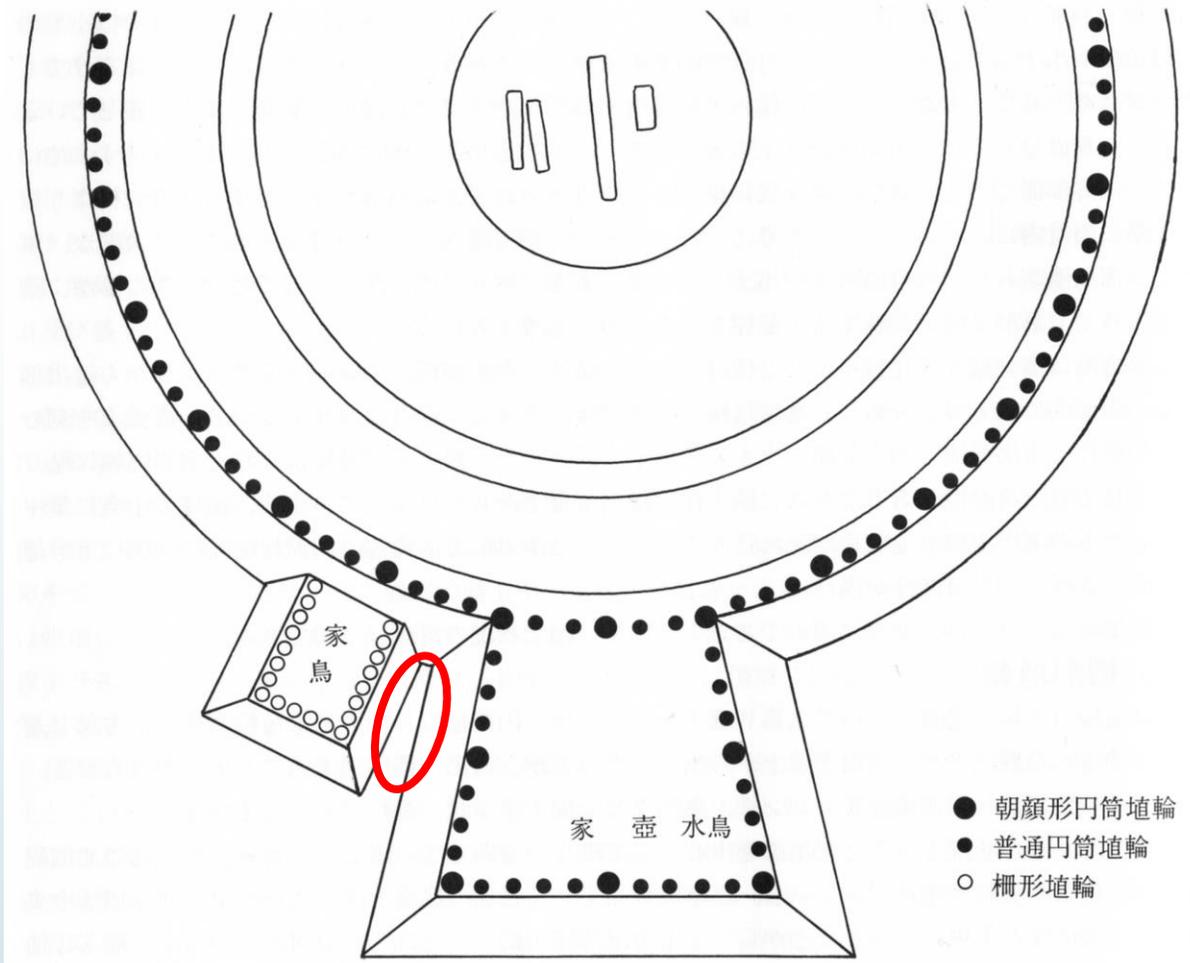
(報告書より)



1. 野毛大塚古墳の概要

土器

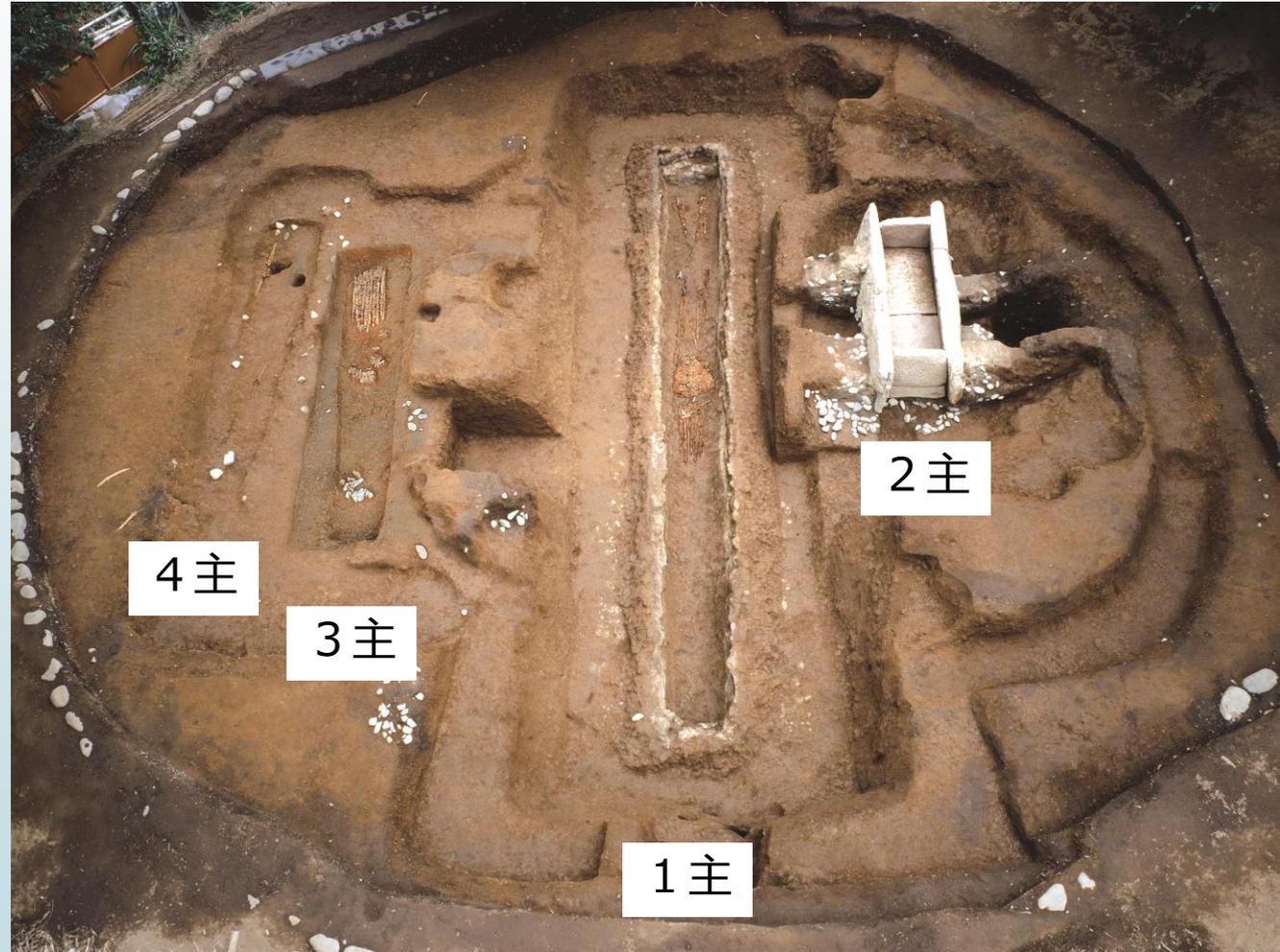
- ▶ 土師器（高坏）
- ▶ 須恵器破片



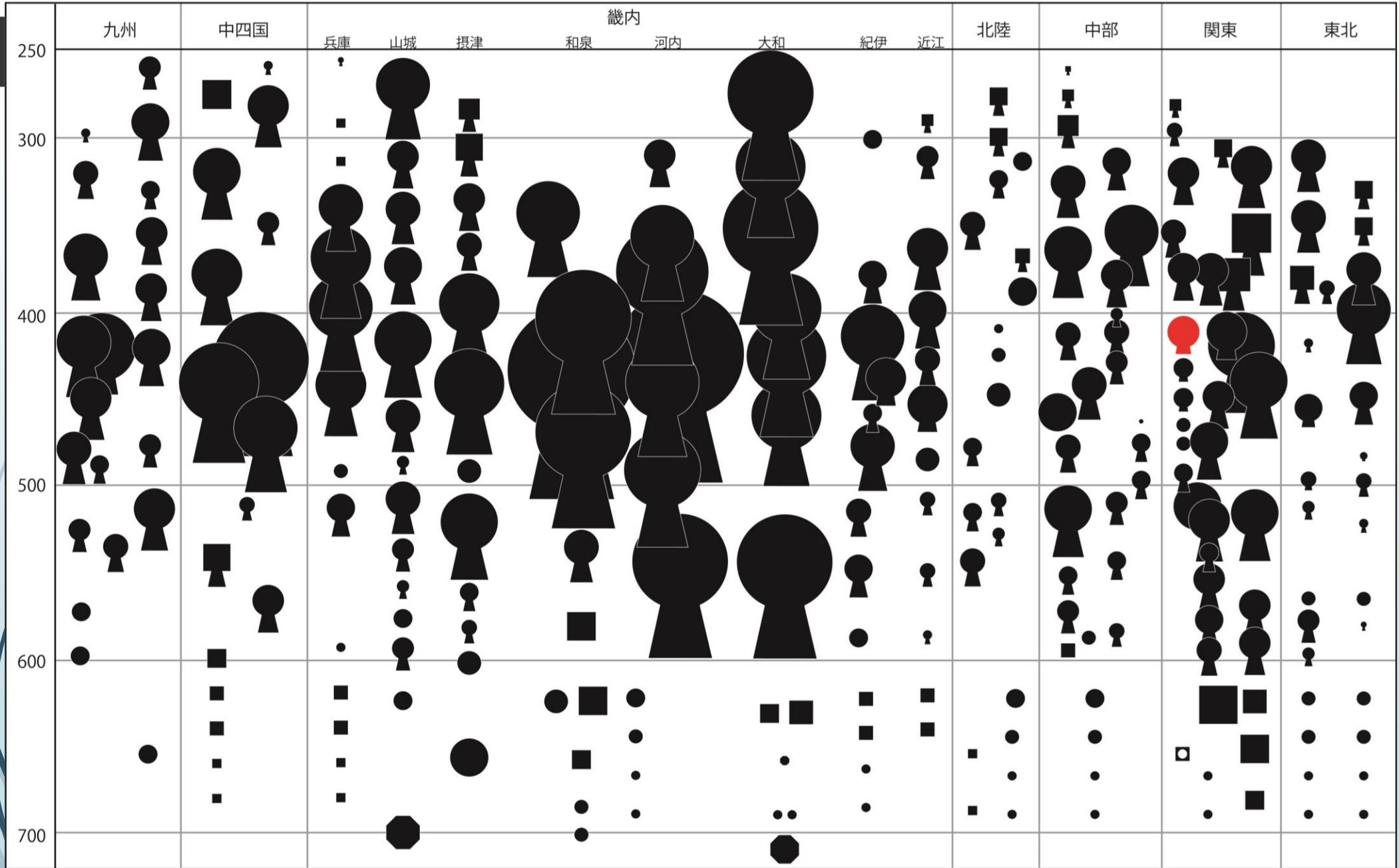
(報告書より)

4 墓の埋葬施設

- 第1 → 第3 → 第2 → 第4
- 約50年間の間に構築
- 多種多量の副葬品
(重要文化財)



2. 野毛大塚前後の主要古墳



3. 5世紀初頭の東アジア



年	中国	朝鮮半島	倭	できごと	
350	五胡十六国 東晋	高句麗 百濟 加耶 新羅		355 高句麗←前燕に都集安を攻略される	
364				百濟→加耶の卓淳国に遣使	
366				倭↔百濟: 通交	
369・371				百濟→高句麗と戦い、退ける	
372				百濟↔東晋: 通交、対高句麗戦の方策	
375				高句麗→寺院建立、海東における仏教の始まり	
377				高句麗・新羅→東晋に朝貢、百濟→前秦に朝貢	
384				東晋→百濟に仏教伝来	
391				倭→百濟・新羅を「臣民」とする	
396				高句麗(広開土王)→百濟を破る	
397				百濟(のちの腆支王)→倭に質として到来、関係好転	
399				百濟↔倭: 和通	
400				履中 反正	倭→加耶方面から新羅に侵攻
404				倭→帯方界に侵攻	
411				允恭	高句麗、倭→東晋に朝貢
416	百濟→東晋に朝貢				
421	倭(讚)→宋に遣使、おそらく安東將軍除受				
425	倭(讚)→宋に遣使				
427	高句麗(長寿王)→平壤に遷都、南下姿勢				
435	高句麗→北魏に朝貢				
438	倭(珍)→宋に朝貢、属僚13名とともに除正				
443	倭(済)→宋に朝貢、安東將軍・倭国王に除正				
448	北魏(太武帝)→西域諸国との通交、シルクロードの確保				
450	新羅→高句麗から離反				
451	倭(済)→宋に朝貢、属僚23名軍部に除正				
450	北魏		安康雄略		

東晋・五胡十六国
 (4世紀前半～5世紀初)
 付「五胡十六国時代の主な国家・政権」
 河野保博・澤本光弘 作成

4. 野毛大塚古墳の鉄製武器

多種多量な武器



主体部	1	2	3	4
甲冑	1	?		
素環頭大刀	1			
直刀	12	6	13	1
剣	4	3	3	
槍			13	1
矛			4	
鏃	40	?	203	
農工具	刀子2 手鎌1		刀子1 斧1	



4. 野毛大塚古墳の鉄製武器



甲冑（1主）

- ▶ 三角板革綴衝角付冑
 - ▶ 鍔
 - ▶ 頸甲
 - ▶ 肩甲
 - ▶ 長方板革綴短甲
-
- ▶ 関東での副葬最古級
 - ▶ 御岳山では鉾留短甲



4. 野毛大塚古墳の鉄製武器

刀剣類

- 素環頭大刀 (1主)
- 直刀 (1~4主)
- 剣 (1~3主)
- 槍 (3・4主)
- 矛 (3主)



4. 野毛大塚古墳の鉄製武器

農工具

- ▶ 刀子（1・3主）
- ▶ 手鎌（1主）
- ▶ 斧（3主）

- ▶ 小型品、携帯用？
- ▶ のちの軍防令備戎具条規定の先駆け？



5. 野毛大塚古墳の鉄鍬

多種多量な鉄鍬

- ▶ 1主：3型式40点
- ▶ 3主：13型式203点

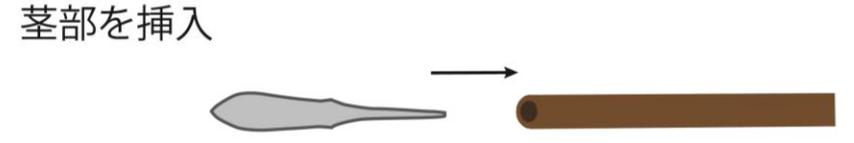
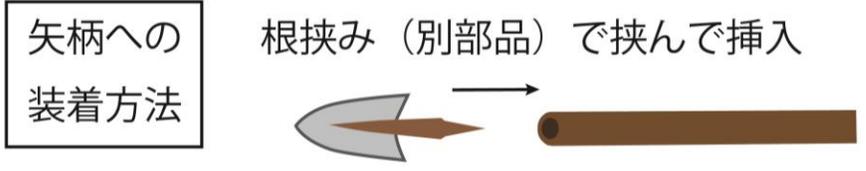


5. 野毛大塚古墳の鉄鍬

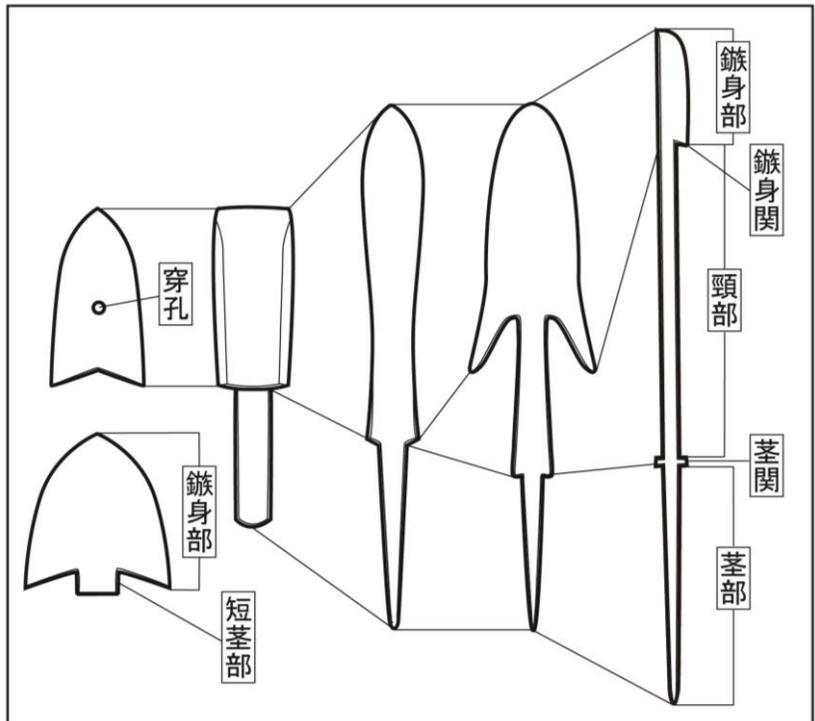
多種多量な鉄鍬

矢柄への 装着方法		根挟み（別部品）で挟んで挿入		茎部を挿入						
				無頸		有茎				長頸
関	茎 頸 身	無茎	短茎	無頸		有茎				長頸
			三角	長三角	三角	柳葉	三角	柳葉	片刃	剣身
	ナデ									
	角									
	山									
	腸袂									
	二重腸袂									

鉄鏃の分類と名称



関	茎	無茎		短茎		有茎				
	頸			無頸		短頸			長頸	
	身		三角	長三角	三角	柳葉	三角	柳葉	片刃	剣身



鉄鍬の分類と名称

無茎	三角 A 		三角 B 		柳葉 		圭頭 						
短茎	三角 A 		三角 B 		柳葉 		方頭 						
先刃	定角 A 	定角 B 	定角 C 	圭頭 A 	圭頭 B 	圭頭 C 	圭頭 D 	方頭 A 	方頭 B 	方頭 C 	方頭 D 	雁股 A 	雁股 B 
横刃	柳葉 A 	柳葉 B 	柳葉 C 	柳葉 D 	柳葉 E 	柳葉 F 	柳葉 G 	片刃 					
短頸	三角 A 	三角 B 	柳葉 A 	柳葉 B 	柳葉 B 	柳葉 B 							
長頸	三角 		柳葉 			圭頭 	片刃 				反刃 		
平根	三角 A 	三角 B 	三角 C 	柳葉 	柳葉 	圭頭 	圭頭 	圭頭 					

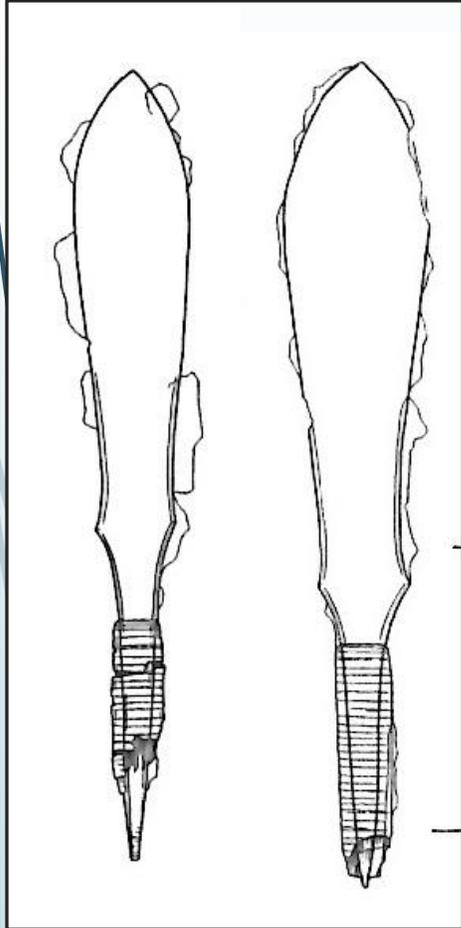
5. 野毛大塚古墳の鉄鍬

多種多量な鉄鍬

矢柄への 装着方法		根挟み（別部品）で挟んで挿入		茎部を挿入						
				無頸		短頸			長頸	
関	茎	無茎	短茎		無頸		短頸			長頸
	頸		三角	長三角	三角	柳葉	三角	柳葉	片刃	剣身
身										
ナデ										
角										
山										
腸袂										
二重腸袂										

鳥舌鏃（1・3主）

- ▶（有茎山形関柳葉式／横刃柳葉式）
- ▶ 中期前半に特徴的な型式
- ▶ 畿内（百舌鳥・古市古墳群）を中心に分布



1主

3主

（報告書より）

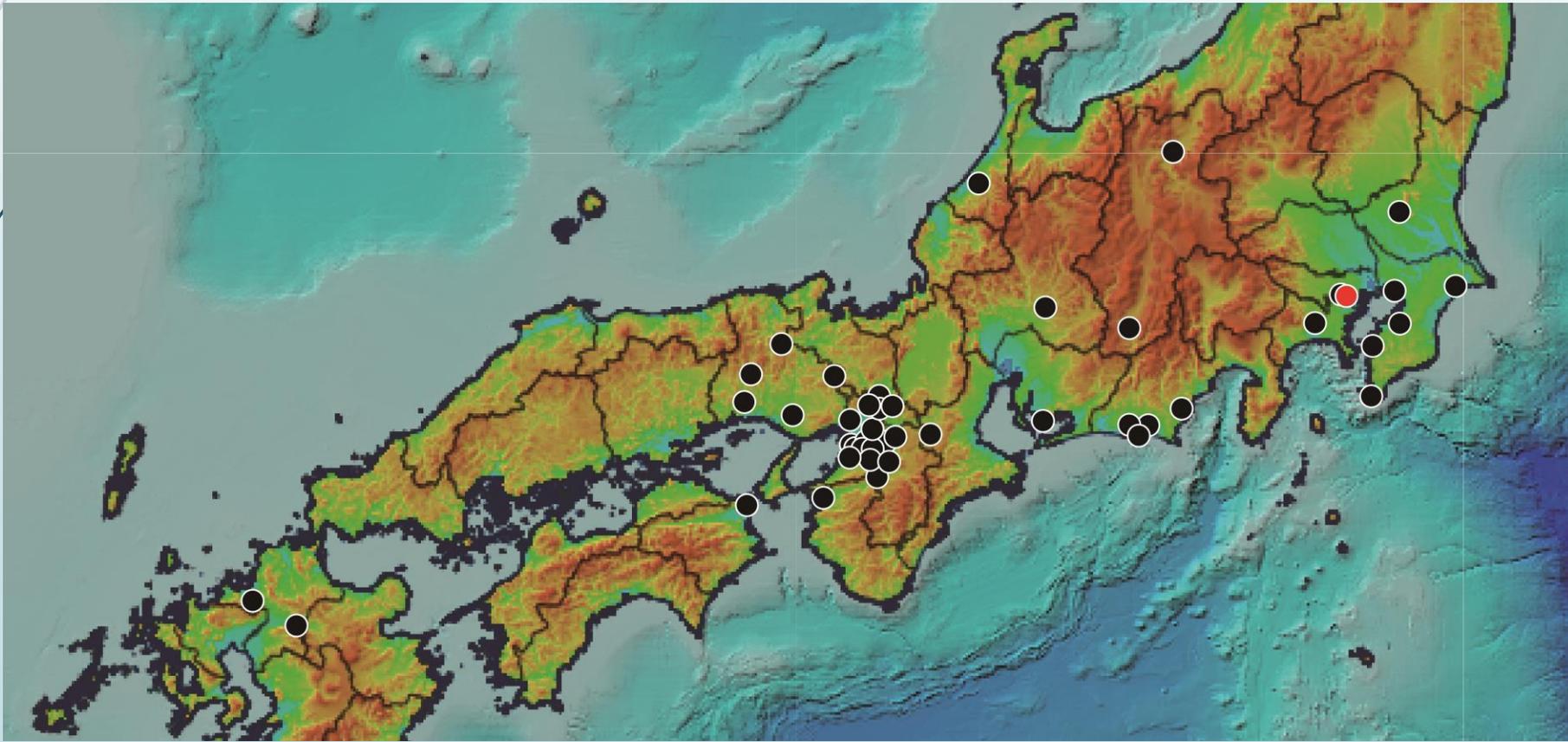


1主

3主

鳥舌鍬（1・3主）

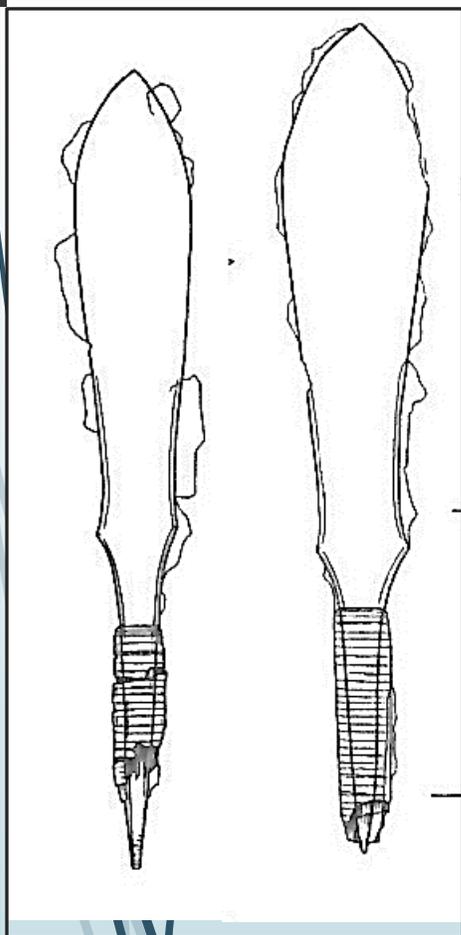
- ▶（有茎山形関柳葉式／横刃柳葉C式）
- ▶ 中期前半に特徴的な型式
- ▶ 畿内（百舌鳥・古市古墳群）を中心に分布



鳥舌鏃（1・3主）

- ▶（有茎山形関柳葉式／横刃柳葉式）
- ▶ 中期前半に特徴的な型式
- ▶ 畿内（百舌鳥・古市古墳群）を中心に分布

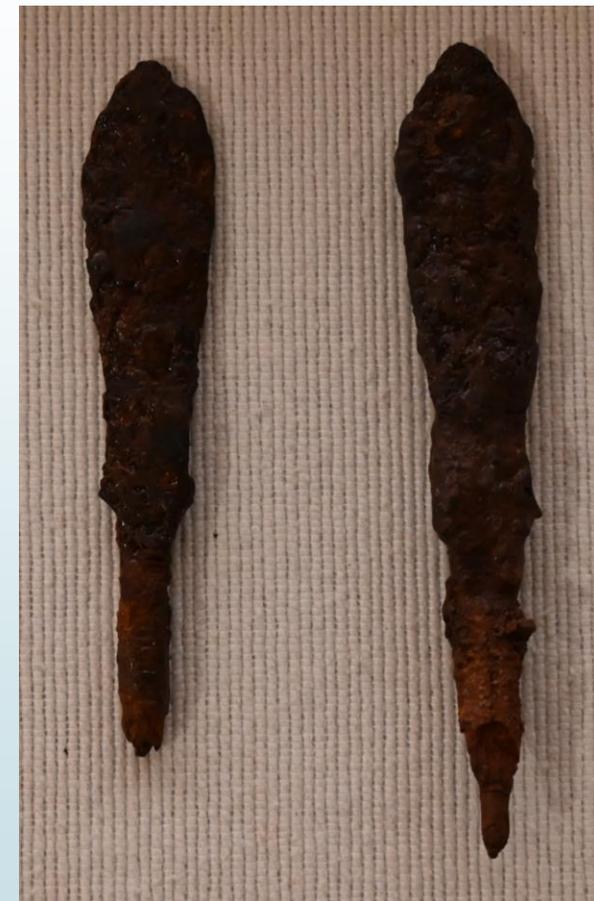
- ▶ 型式変化：鏃身下半部が伸長→刃部が伸長
- ▶（池田2022） 山形関が明瞭→不明瞭



1主

3主

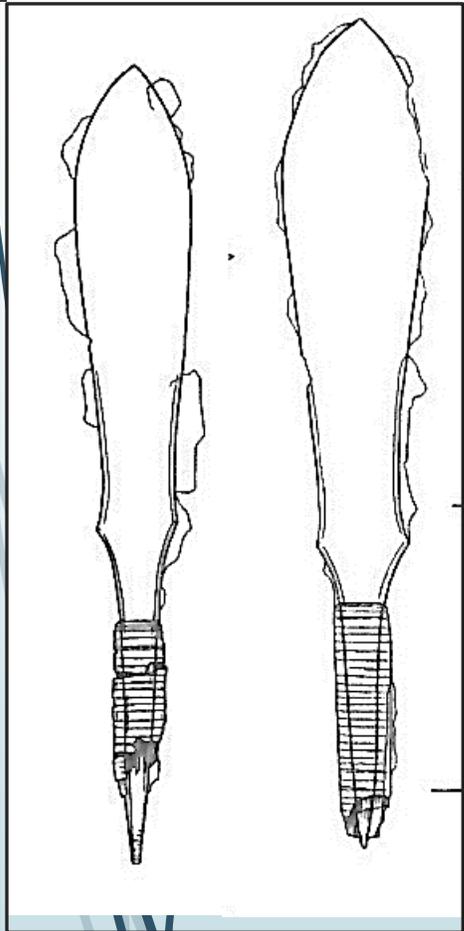
（報告書より）



1主

3主

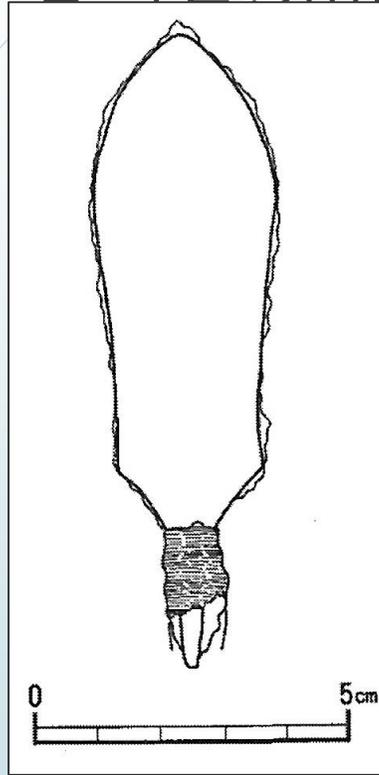
鳥舌鏃 (1・3主)



1主

3主

(報告書より)



砧中学校7号
(松崎2007)

(左葉山形関柳葉式／横刃柳葉式)

に特徴的な型式

(舌鳥・古市古墳群) を中心に分布

: 鏃身下半部が伸長→刃部が伸長

山形関が明瞭→不明瞭

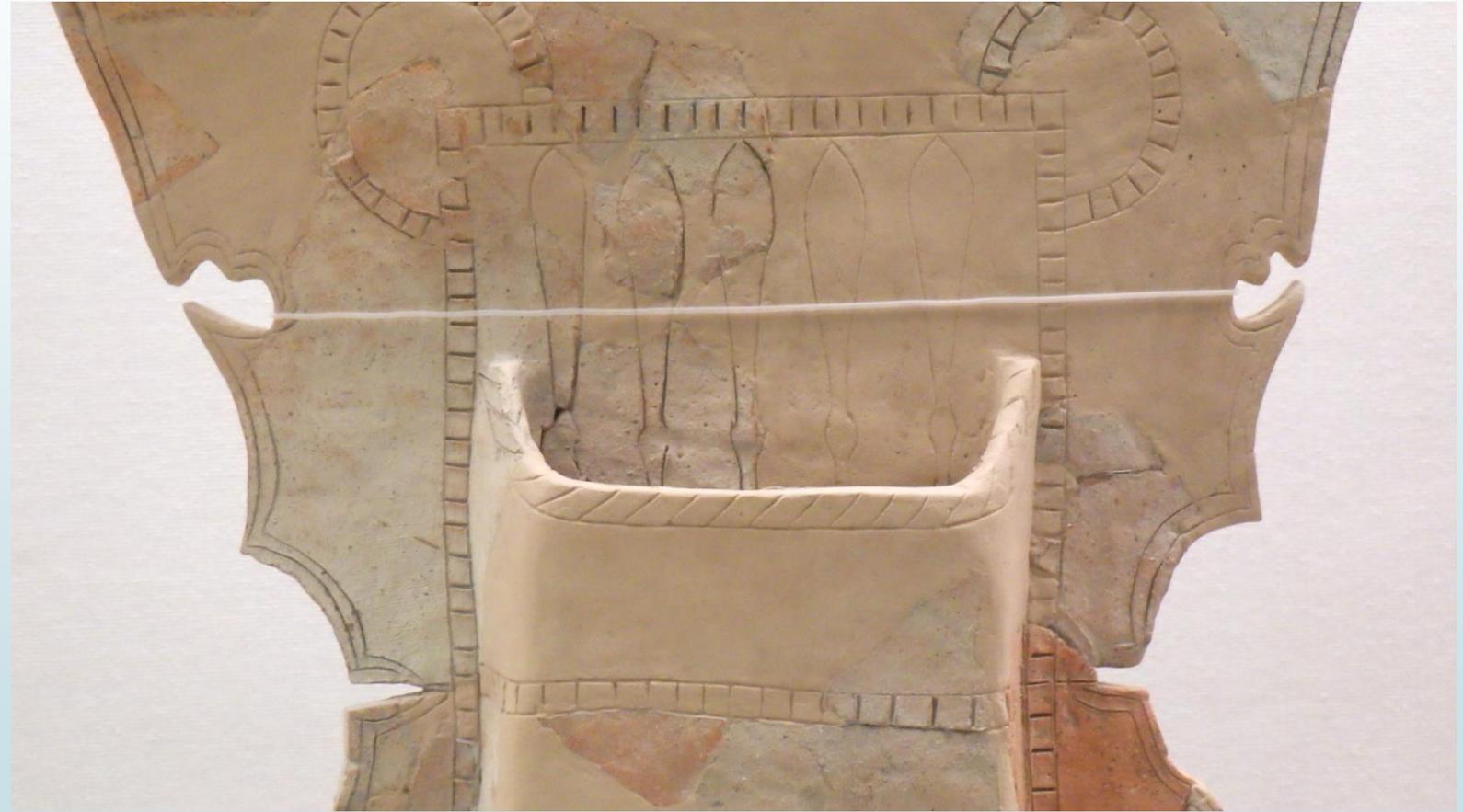


1主

3主

鳥舌鍬（1・3主）

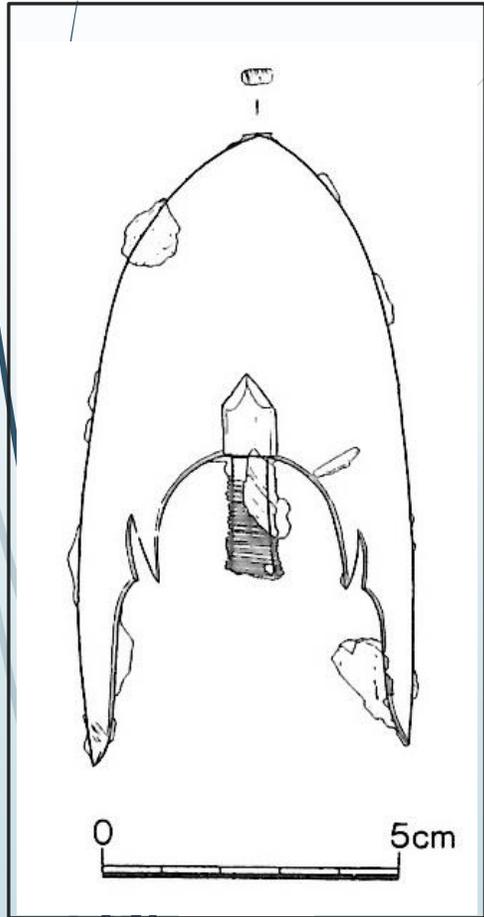
- 靴形埴輪に描かれることが多い（松木1988）



（橿原考古学研究所附属博物館）

二重腸挟鏃（3主）

- ▶（短茎二重腸挟長三角式）
- ▶ 中期前半に特徴的
- ▶ 分布が東日本内ではばらつく



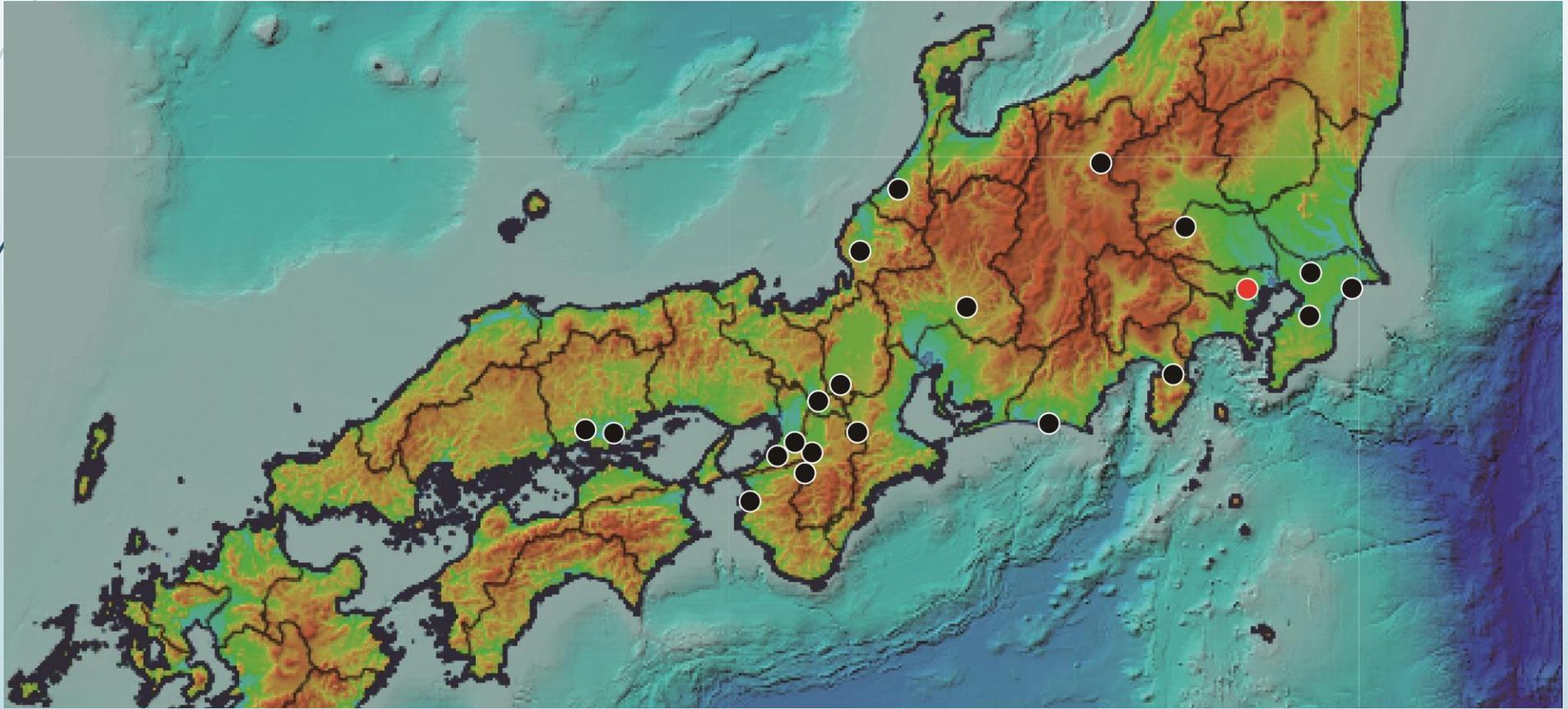
3主



3主

二重腸挟鍬（3主）

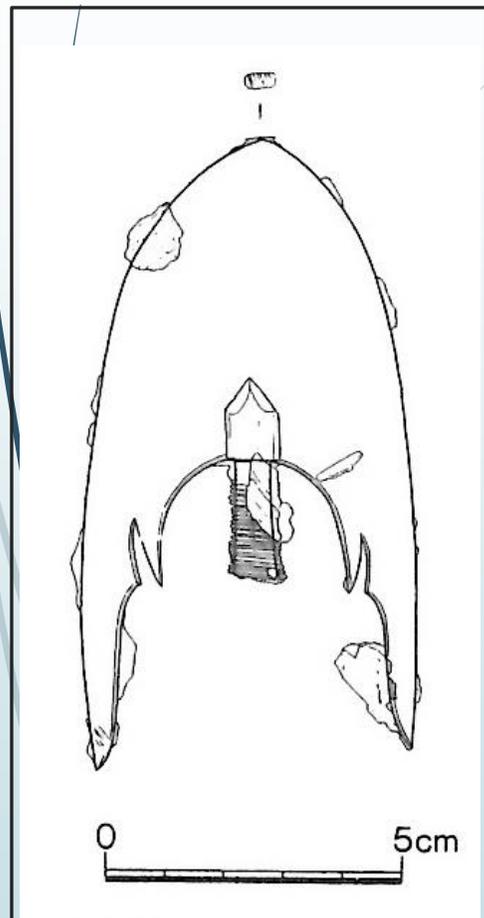
- ▶（短茎二重腸挟長三角式）
- ▶ 中期前半に特徴的
- ▶ 分布が東日本内ではばらつく



二重腸挾鏃（3主）

- ▶（短茎二重腸挾長三角式）
- ▶ 中期前半に特徴的
- ▶ 分布が東日本内ではばらつく

- ▶ 型式変化：重挾が腸挾中央→先端
- ▶ 重挾が内反→外反



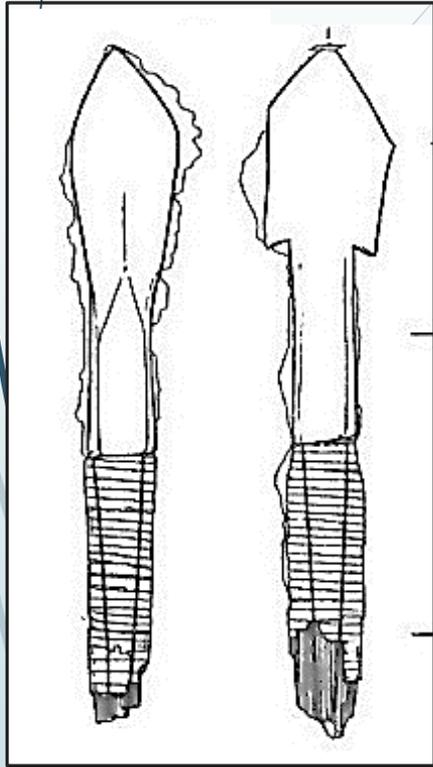
3主



3主

短頸鍬（1・3主）

- ▶ 中期初頭から全国的に出現
- ▶ 型式変化：頸部が伸長



1主

3主

(報告書より)

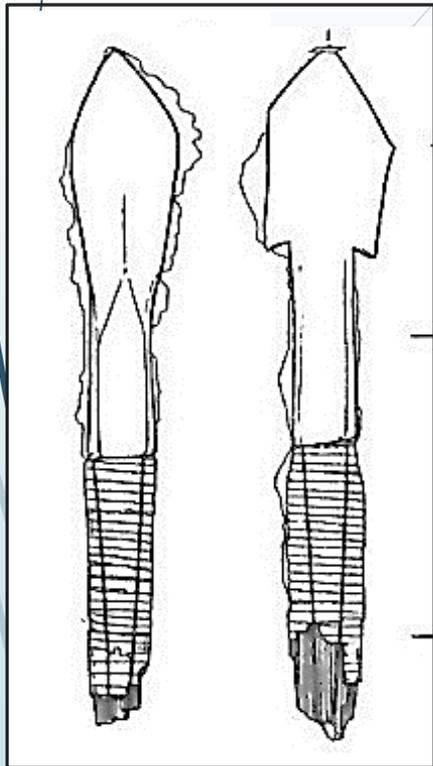


1主

3主

短頸鏃（1・3主）

- ▶ 中期初頭から全国的に出現
- ▶ 型式変化：頸部が伸長
- ▶ 次段階の御岳山では長頸鏃

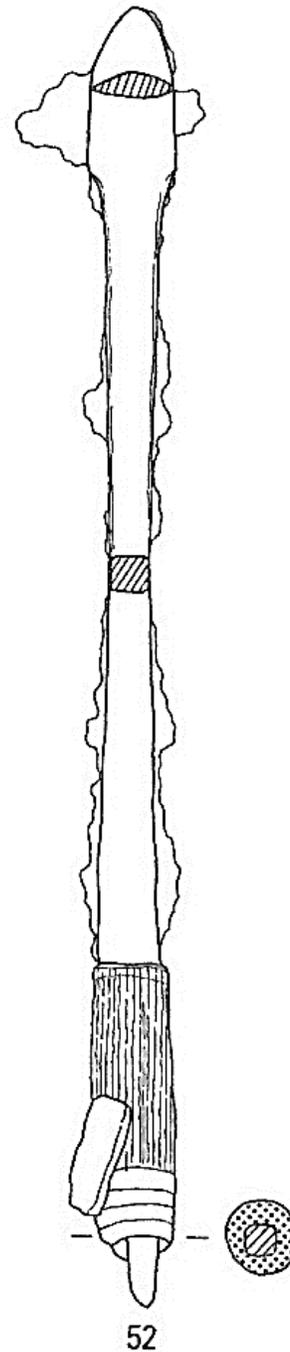


1主

3主

(報告書より)

御岳山
(松崎1997)

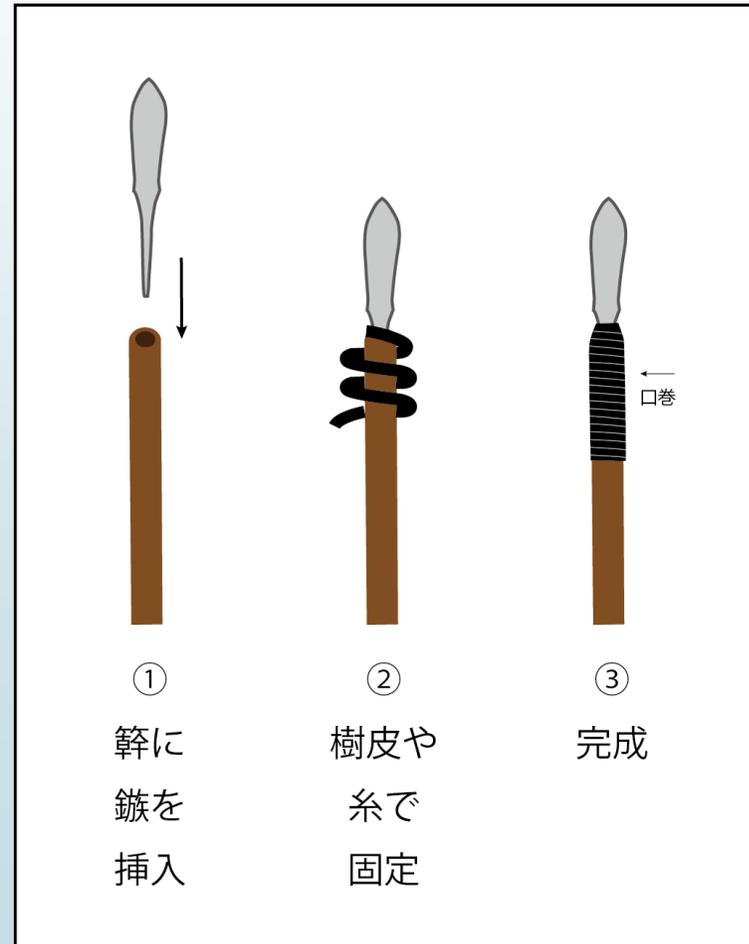


1主

3主

盛矢具

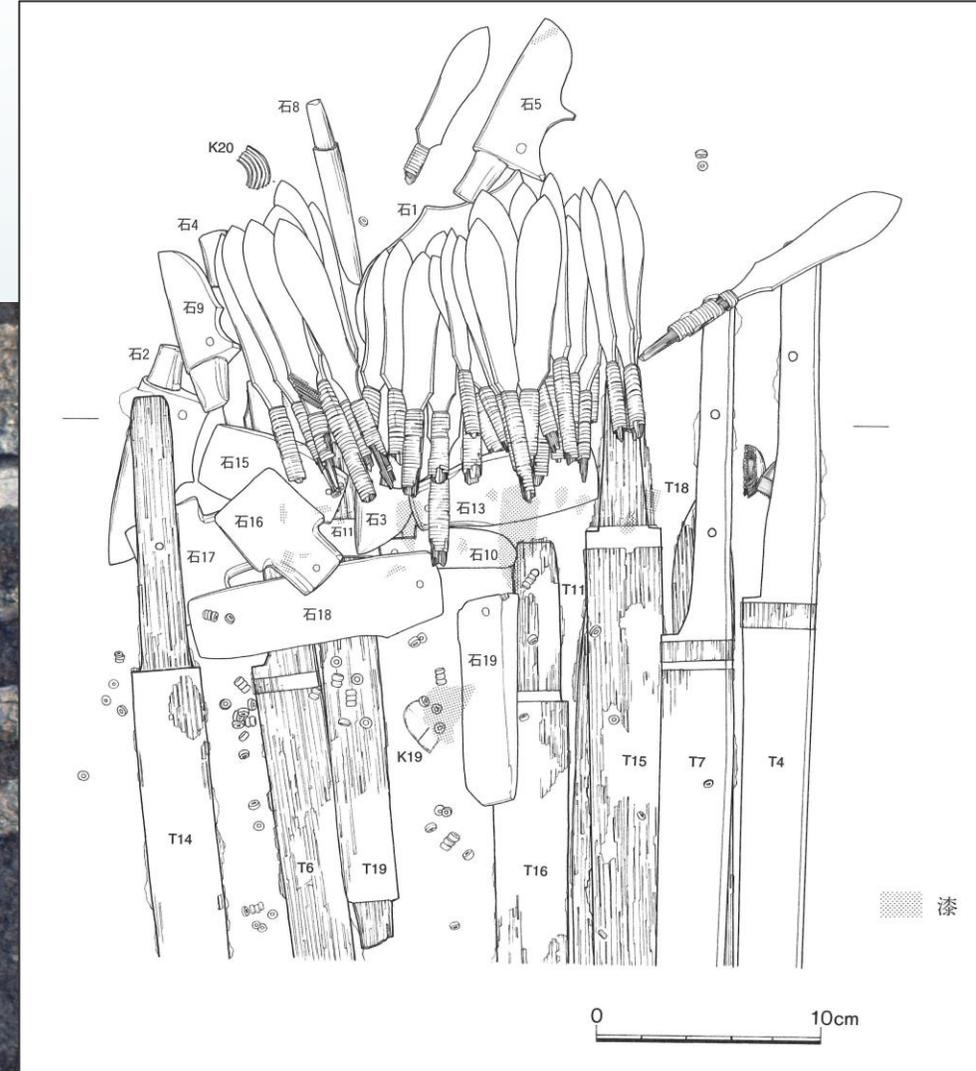
- ▶ 樹皮口巻が遺存→籐に装着されて副葬
- ▶ 束で出土、有機質が付着→盛矢具に納めて副葬



5. 野毛大塚古墳の鉄鍬

盛矢具：1主

- 鳥舌鍬が上、短頸鍬が下
- 鉄鍬の上に紐状繊維→鞆？
- 周辺に黒漆被膜→簀に塗布？



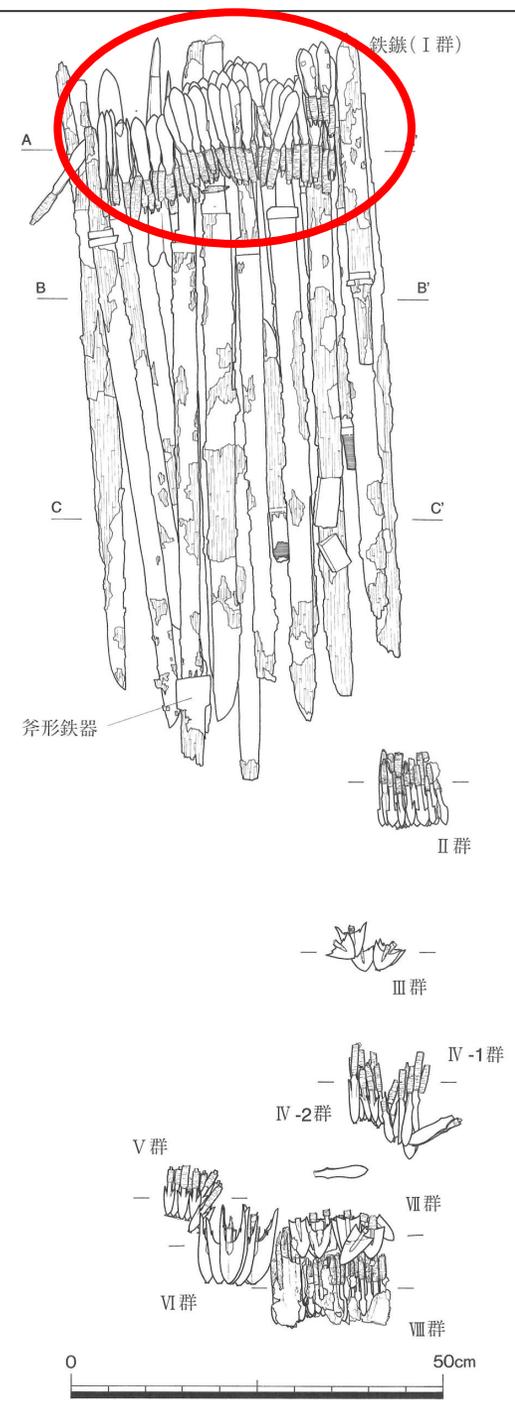
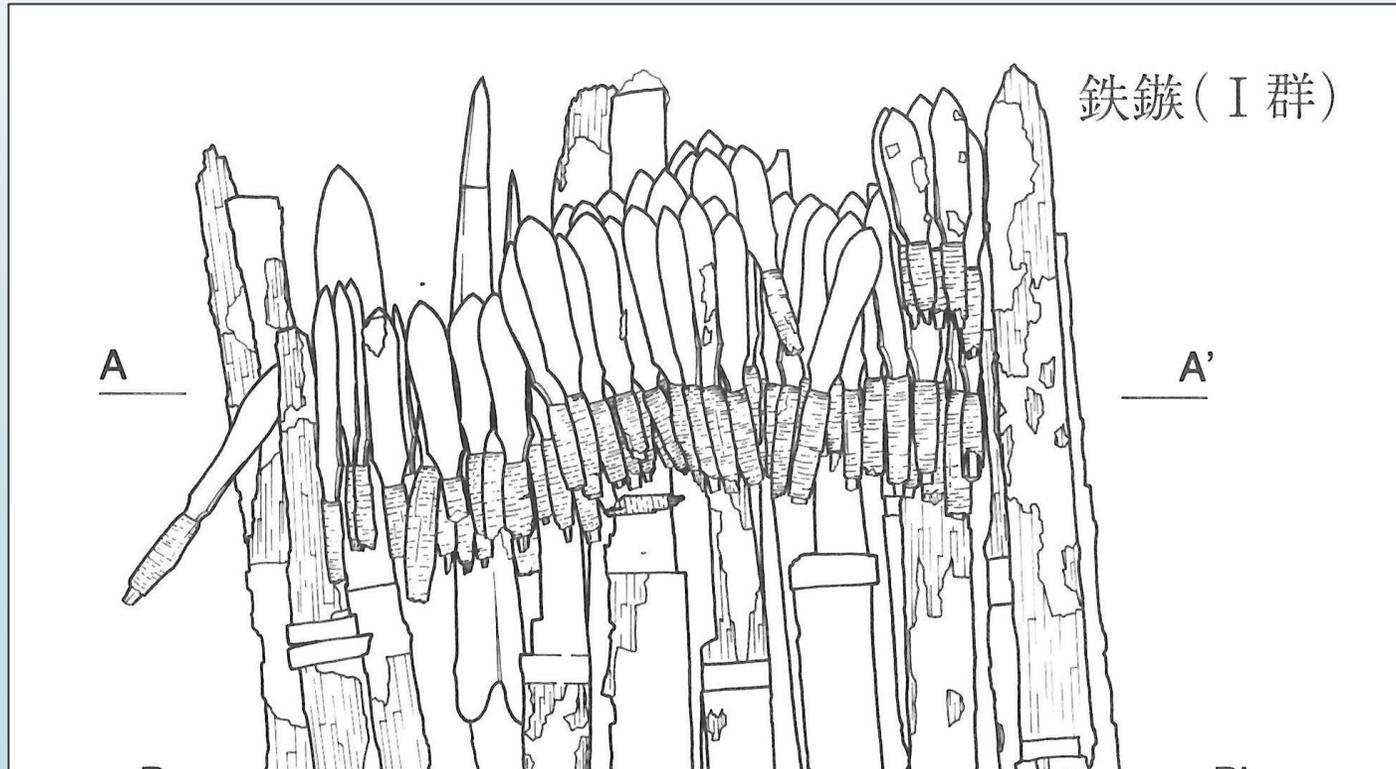
盛矢具：3主

➡ 8群



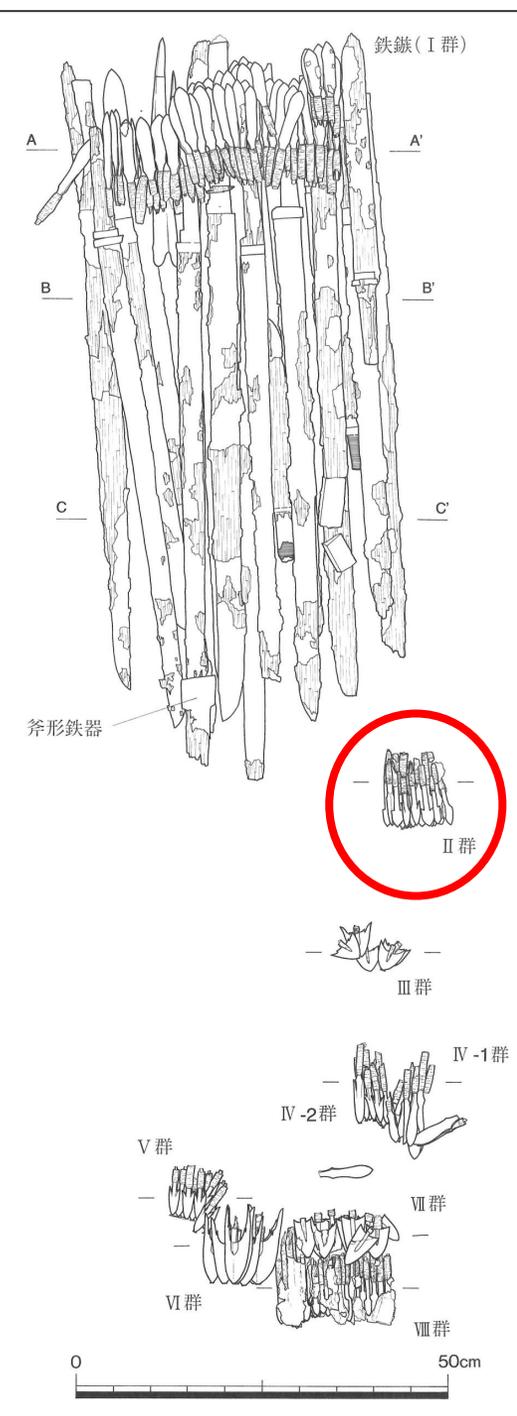
盛矢具：3主I群

▶ 横刃柳葉式



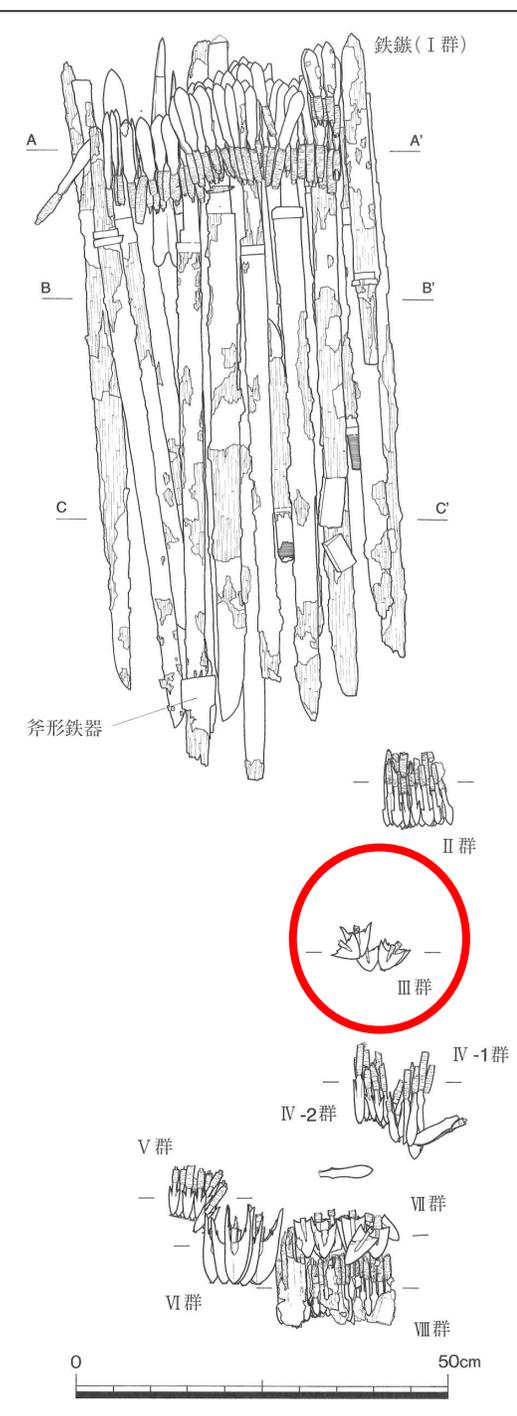
盛矢具：3主Ⅱ群

- ▶ 短頸片腸挾三角式
- ▶ 短頸腸挾長三角式
- ▶ 短頸腸挾三角式
- ▶ 短頸劍身式
- ▶ 横刃柳葉式
- ▶ 短頸柳葉式



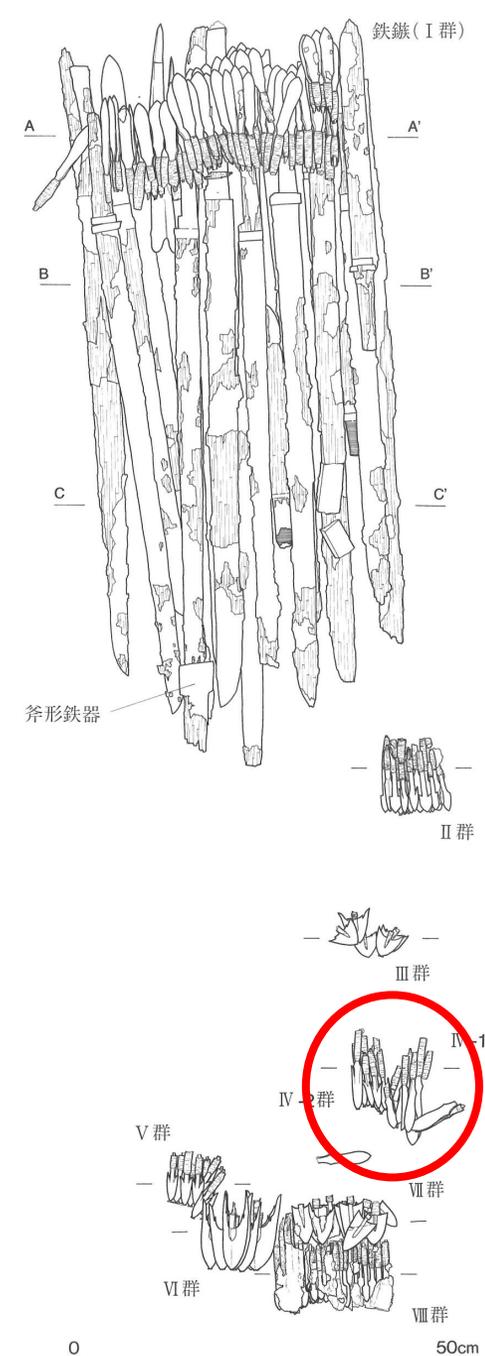
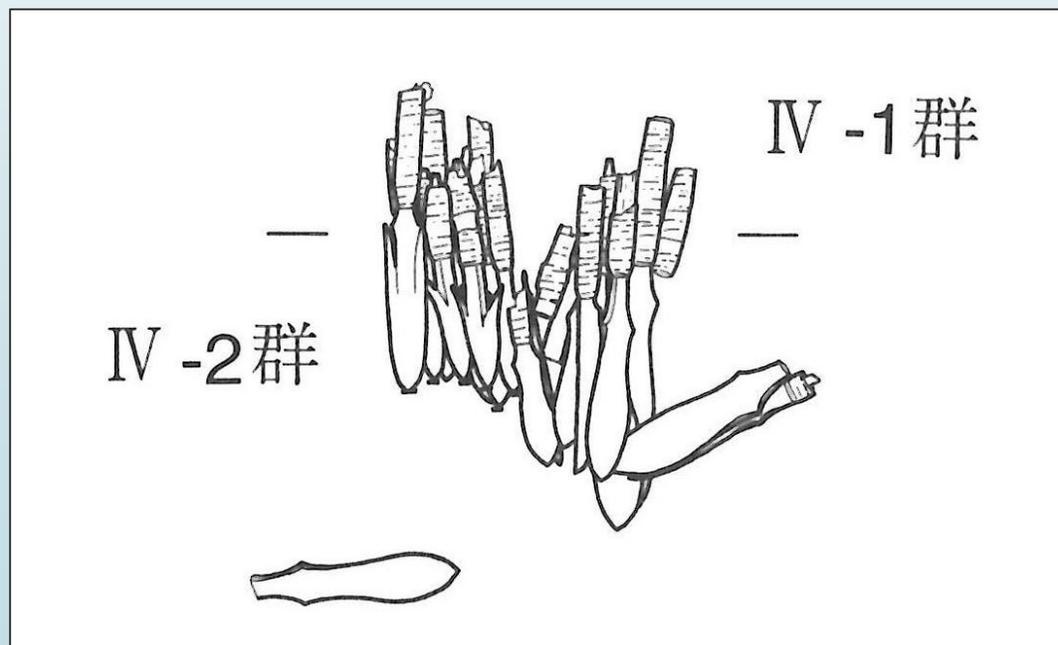
盛矢具：3主Ⅲ群

- ▶ 短茎腸袂三角式
- ▶ 短茎二重腸袂三角式



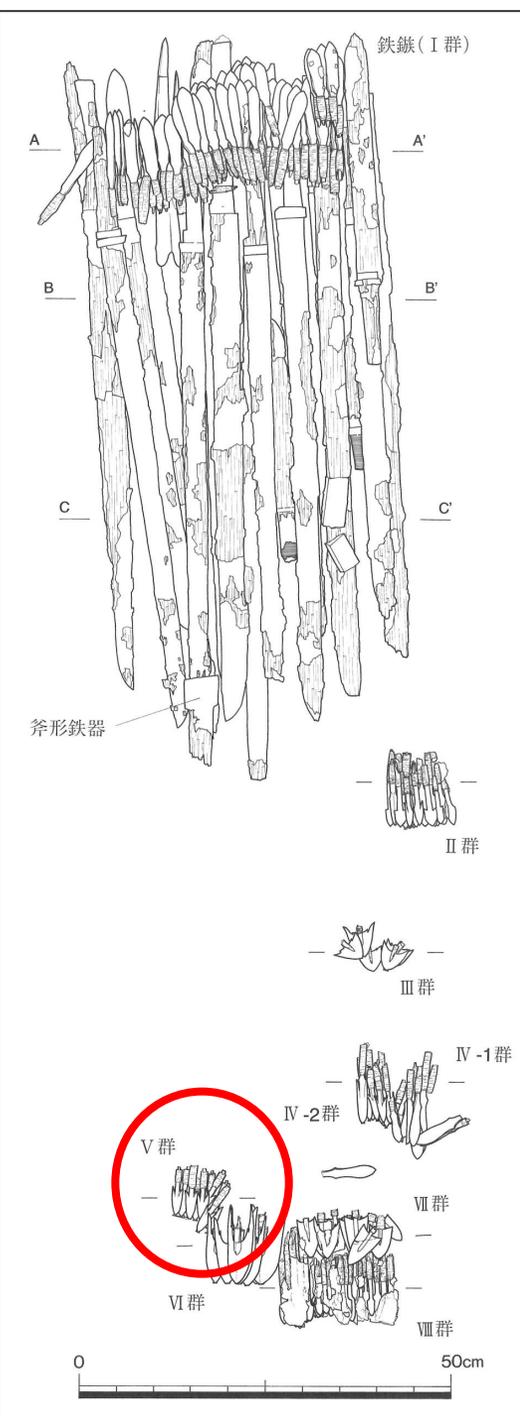
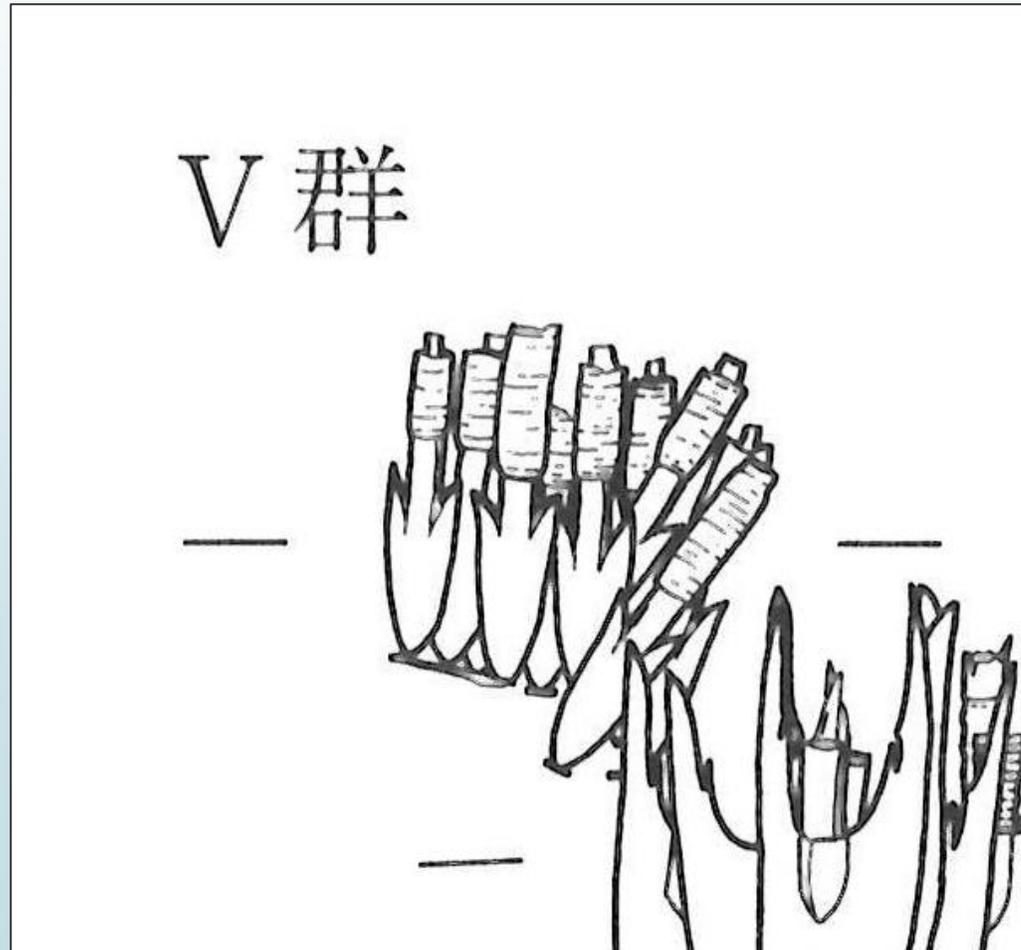
盛矢具：3主IV群

- 横刃柳葉式
- 短頸柳葉式
- 短頸剣身式
- 短頸腸挟柳葉式
- 短頸腸挟長三角式



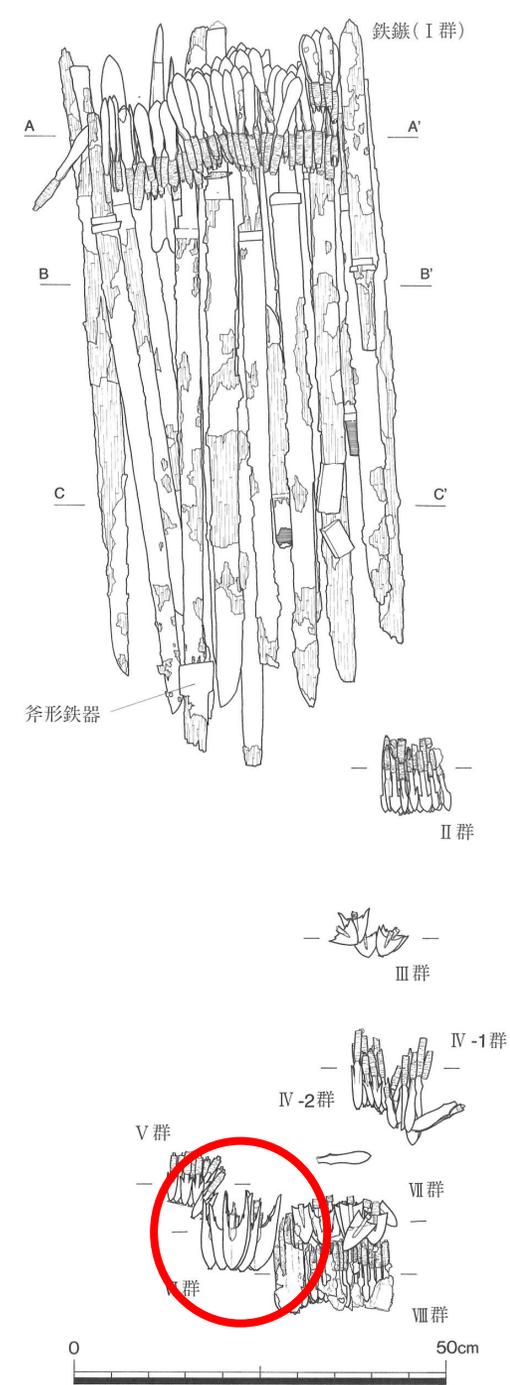
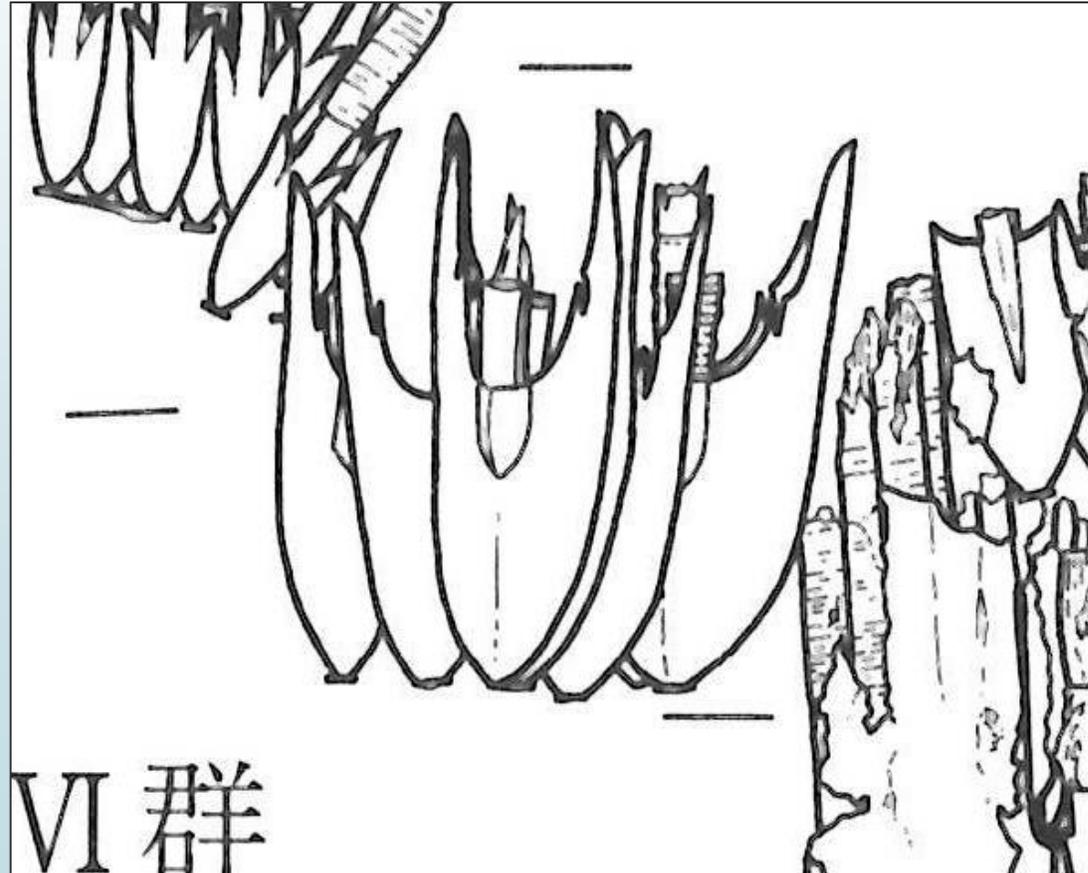
盛矢具：3主V群

▶ 短頸腸挟柳葉式



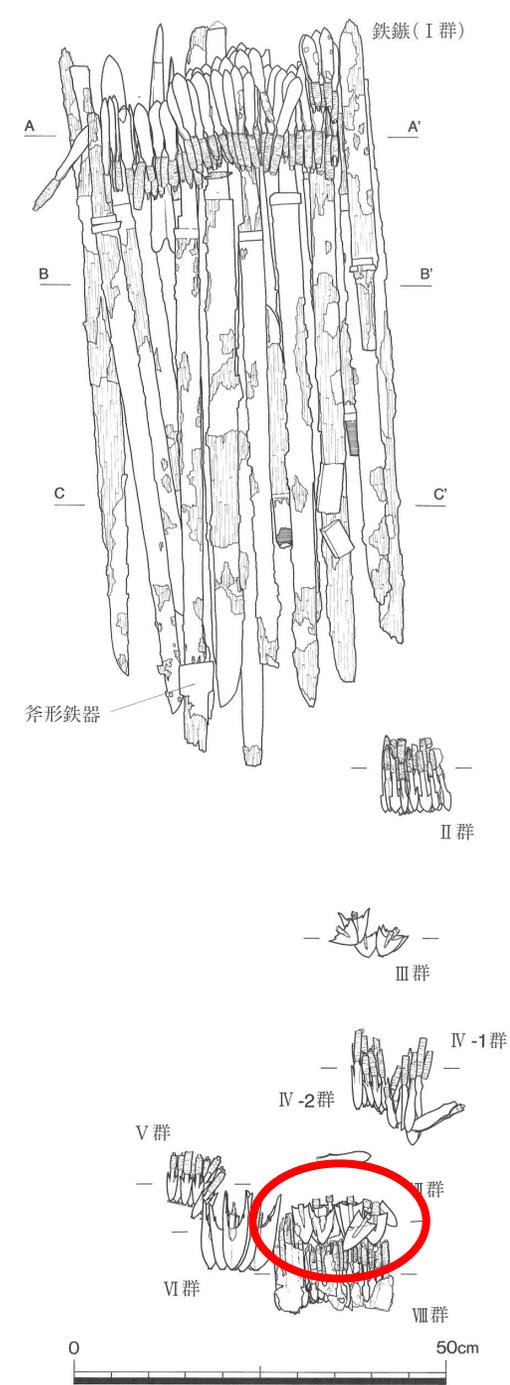
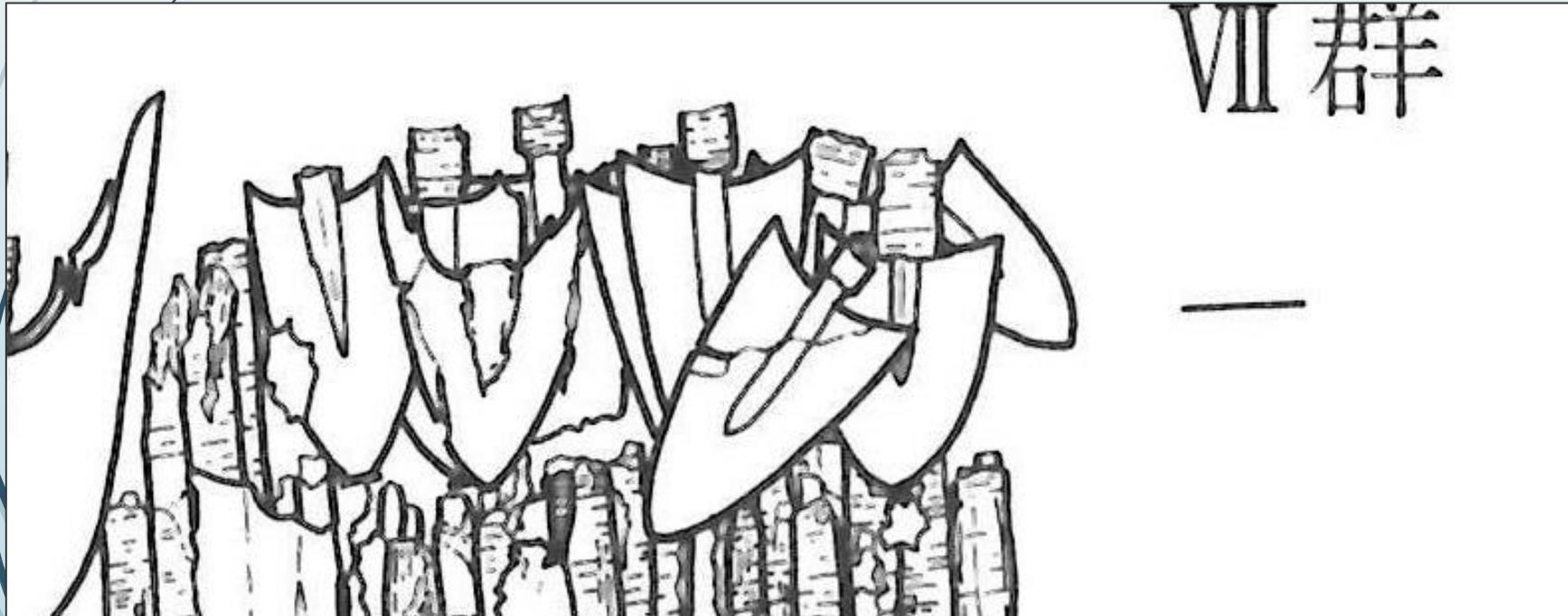
盛矢具：3主VI群

- ▶ 短茎二重腸挟長三角式



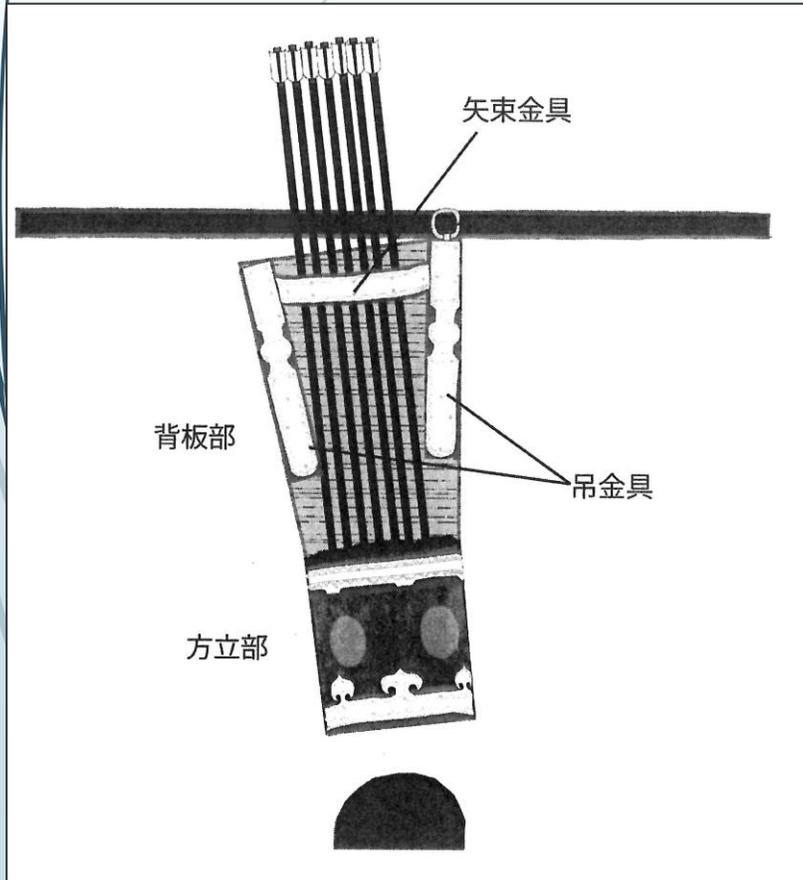
盛矢具：3主Ⅶ群

- ▶ 短茎腸挟長三角式
- ▶ 短茎二重腸挟長三角式

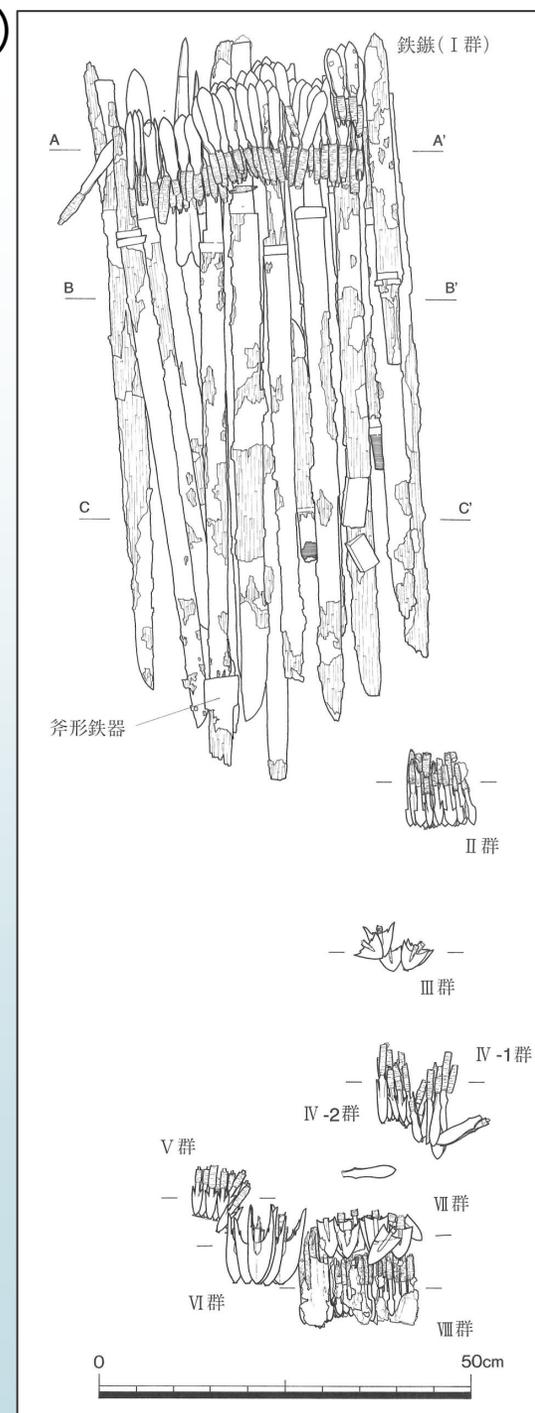
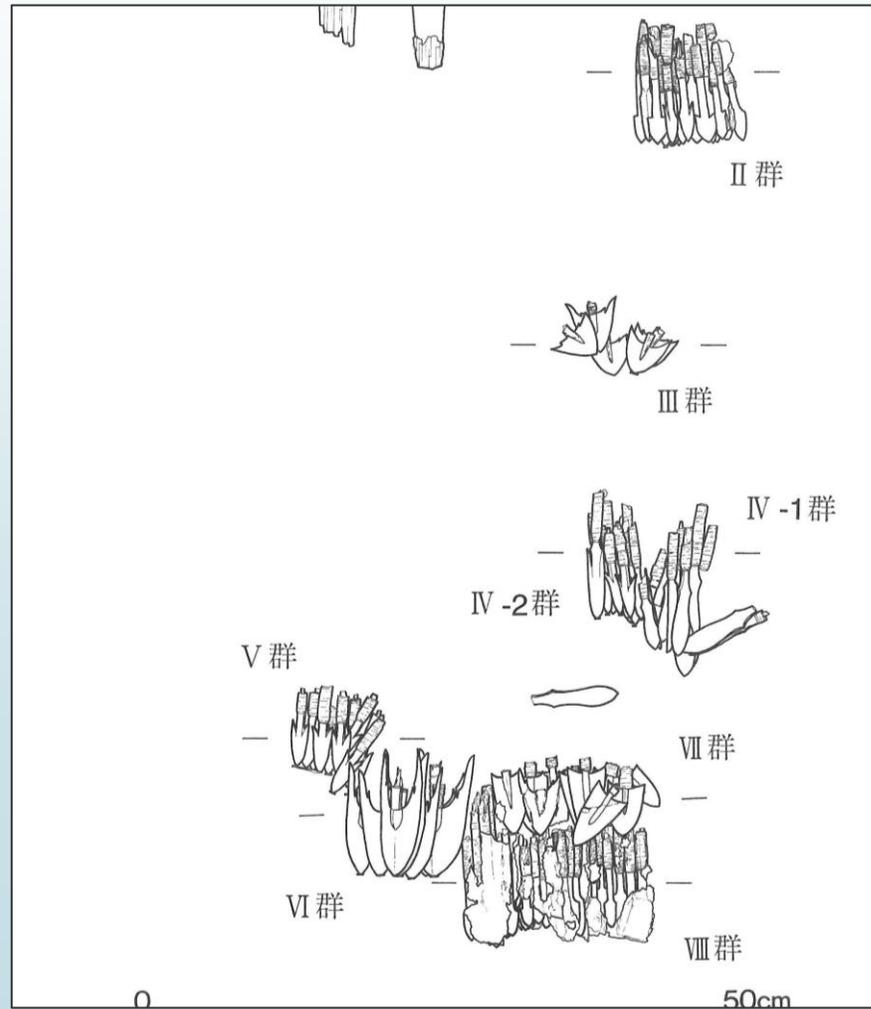


盛矢具：3主Ⅱ～Ⅶ群

- 鏃身側面と刃先に対して垂直に木片が付着
- 胡籥？

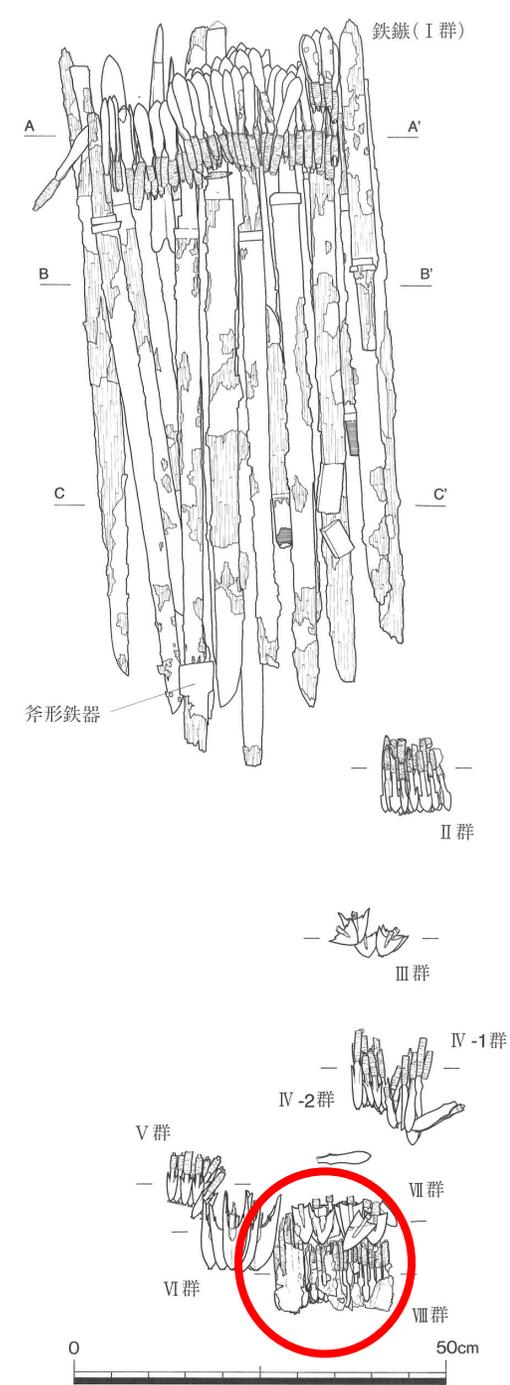
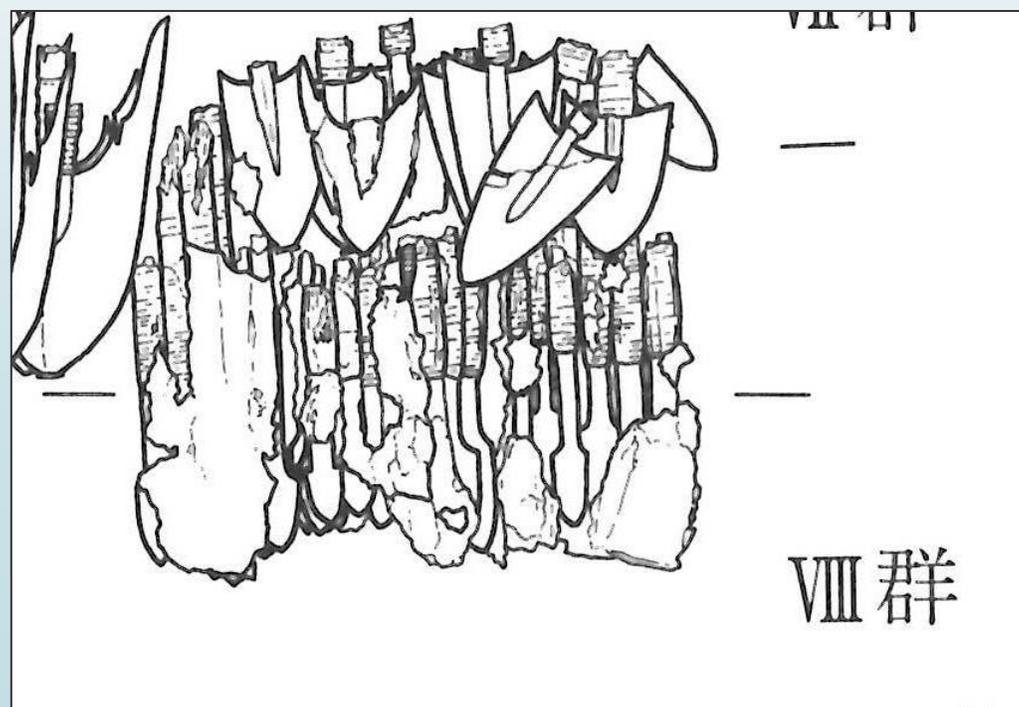


(坂2014)



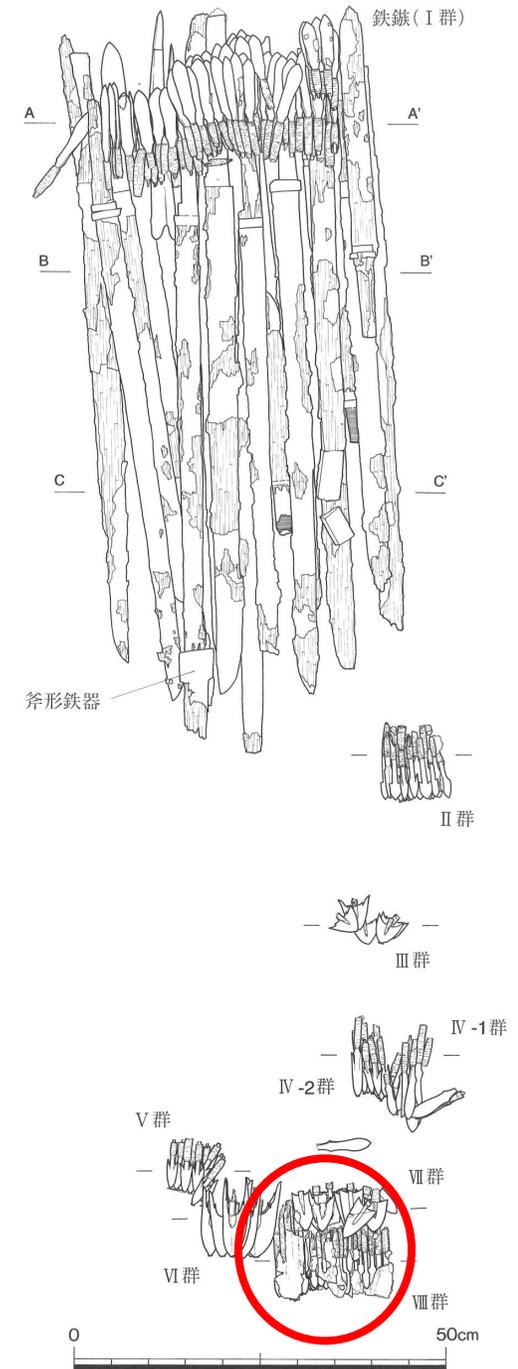
盛矢具：3主Ⅷ群

- ▶ 横刃柳葉式
- ▶ 短頸ナデ関長三角式
- ▶ 剣身式
- ▶ 短頸二段関長三角式



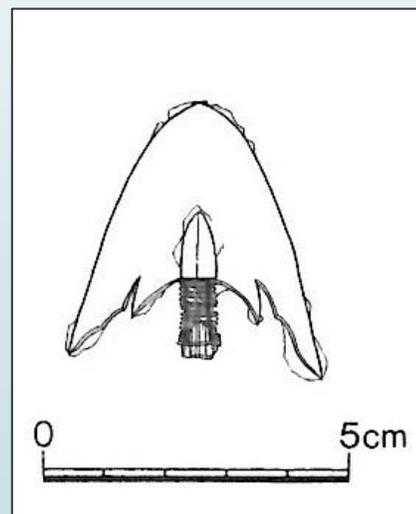
盛矢具：3主Ⅷ群

- ▶ 鏃身先端が皮で包まれる
- ▶ 下半には鏃身に沿った木目の木片が付着
- ▶ 革の上に繊維質付漆片
- ▶ 鞆の背板を外して革製蓋を被せた？

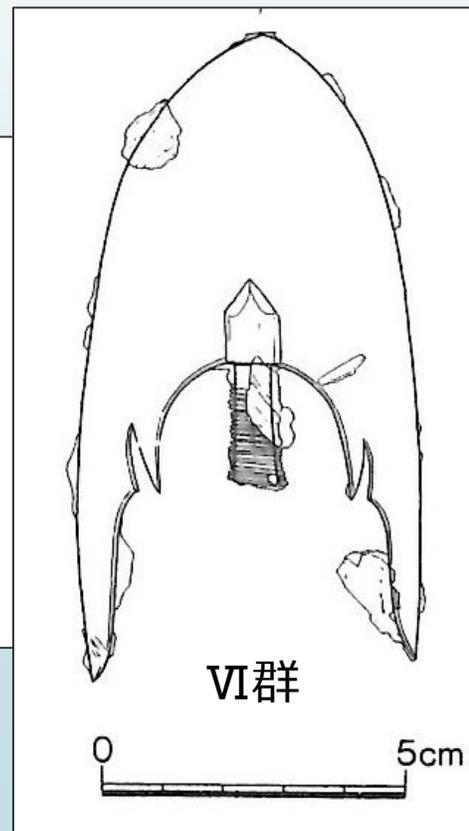


根挟

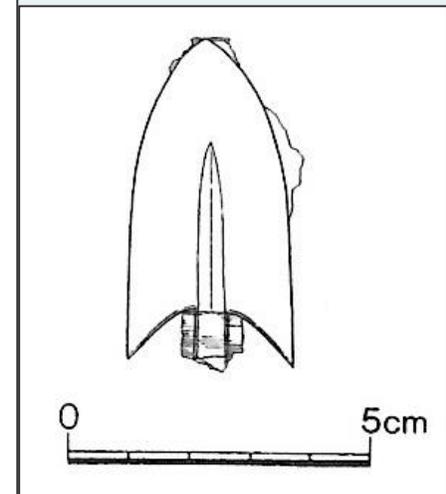
- 短茎鍬のみで束になる（1束の数量は少ない）
- 群ごとに根挟の型式が異なる→製作集団が異なる
- III群：太めの尖頭
- VI群：厚みのある圭頭
- VII群：細めの尖頭



III群

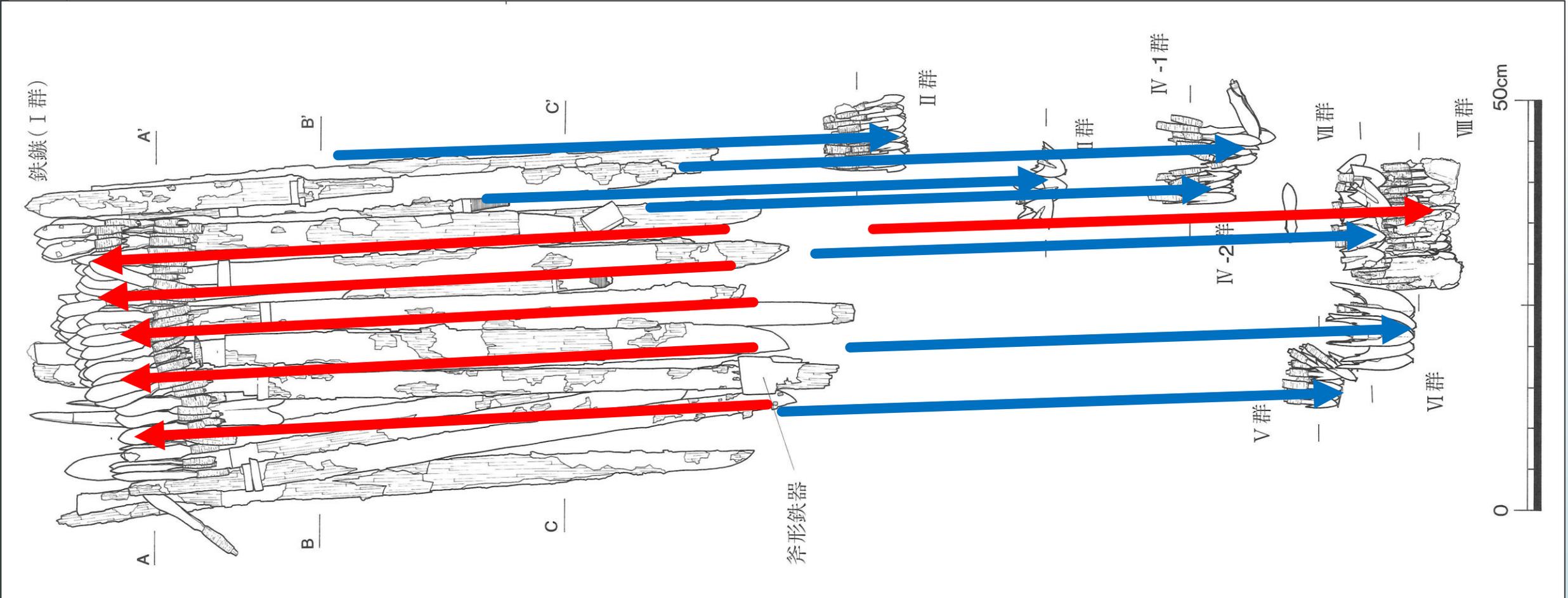


VI群



VII群

鉄鍬束の副葬



 藁or革袋

 胡籜

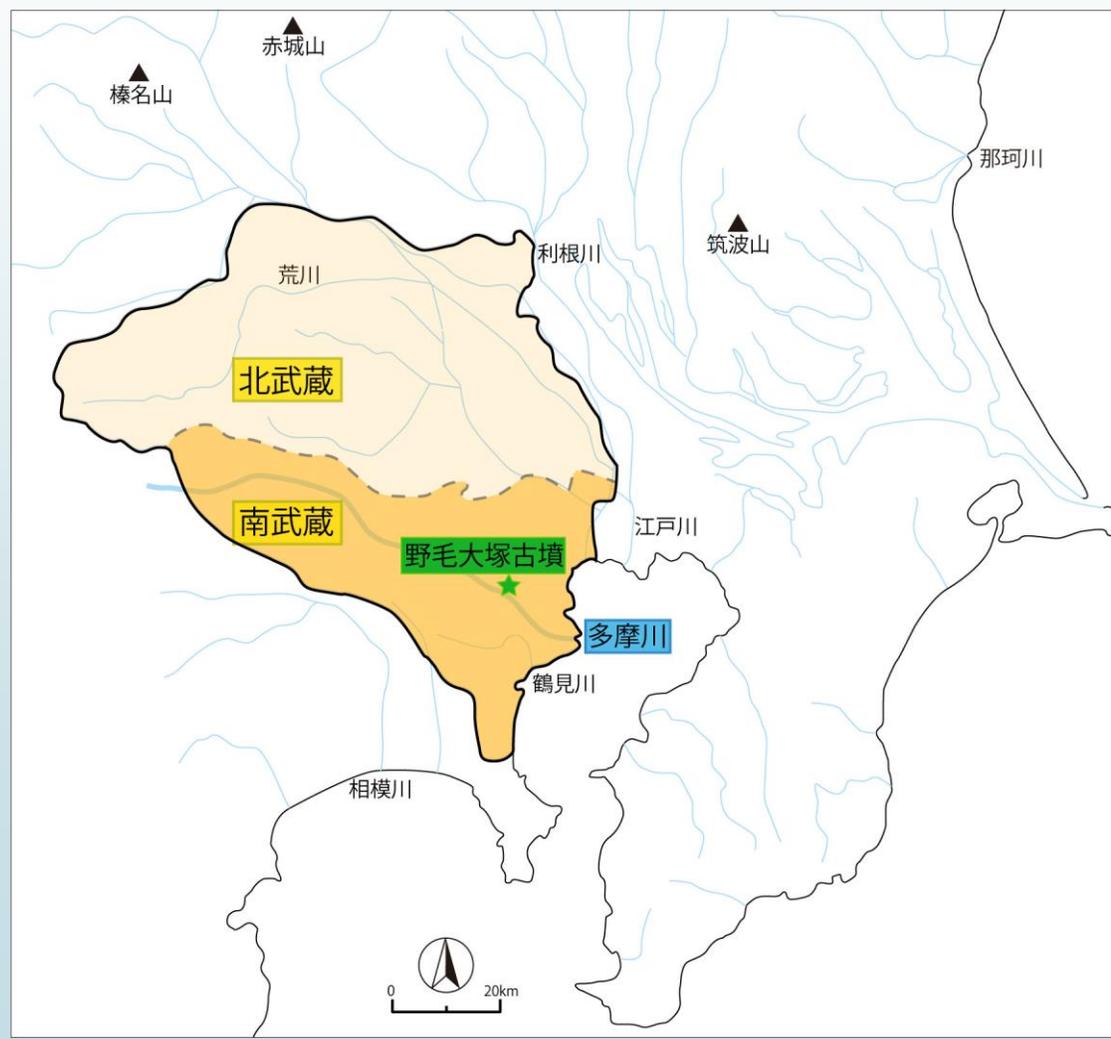
(報告書より)

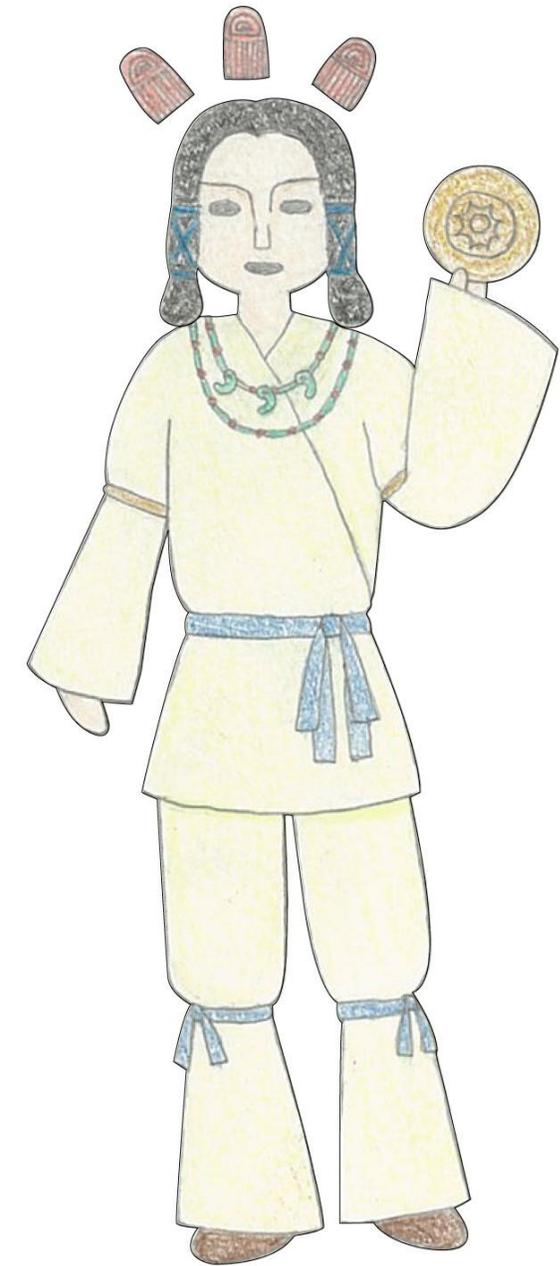
武器の生産から保有、副葬

- ▶ 5世紀初頭...武器を多量生産、早い型式変化
使用されることなく副葬される
- ▶ 畿内生産中心の武器...甲冑、刀剣類、鳥舌鍔
- ▶ 地方生産可能な武器...短茎鍔、短頸鍔など型式豊富

野毛大塚古墳の被葬者像

- 畿内との強い関わり（墳形、埴輪、武器、石製模造品）
- 各地域との交流
（多様な鉄鍬型式）
- 高い軍事力・経済力
（多種多量な副葬品）
- 多摩川流域／南武蔵を統治
（立地）





ご清聴ありがとうございました

